

## Part 1 基本情報

### 1. フィジープロフィール

- (1) 正式名称 (和文) フィジー諸島共和国  
(英文) Republic of the Fiji Islands
- (2) 政体 共和制  
(※注意) ただし、2008年3月末時点で政権を担当しているのは、2006年12月5日のクーデター後、2007年1月に発足した暫定(軍事)政権である。
- (3) 首都 スバ
- (4) 面積 1万8,270平方キロメートル(四国とほぼ同じ大きさ)
- (5) 人口 827,900人(2007年9月センサス結果)
- (6) 民族 フィジー系(57.3%)、インド系(37.6%)、その他(5.1%)(同上)
- (7) 言語 英語(公用語)の他フィジー語、ヒンディー語を使用。
- (8) 宗教 フィジー系はほぼ100%キリスト教、インド系はヒンズー教、回教。全人口に占める割合はキリスト教58.0%、ヒンズー33.7%、回教7.4%(1996年センサス結果)
- (9) 略史
- |             |   |
|-------------|---|
| 1874年       | 英国植民地となる  |
| 1970年10月10日 | 英国より独立しフィジー国が成立(立憲君主制)  |
| 1987年5月、9月  | シチヴェニ・ランブカ中佐による2回のクーデター   |
| 1987年10月    | 英連邦から離脱し共和制へ移行(国名: フィジー共和国)<br>英連邦再加盟                               |
| 1998年7月     | 民族融和を目指す新憲法発効。(国名: フィジー諸島共和国)                                       |
| 1999年5月     | 労働党党首のチョードリーが初のインド系首相に就任  |
| 2000年5月     | 青年実業家ジョージ・スペート率いる武装グループによる国会占拠事件が発生                                 |
| 2001年9月     | 総選挙を経てライセニア・ガラセを首相とする文民政府が成立  |
| 2006年12月    | ジョサイア・ヴォレンゲ(フランク)・バイニマラマ国軍司令官による無血クーデター発生。セニランガカリを暫定首相に任命、議会在解散される。 |
| 2007年1月     | セニランガカリ暫定首相辞任、バイニマラマ司令官が暫定首相に就任、暫定内閣発足                              |
| 2007年9月     | 国勢調査(センサス)実施  |
- (10) 在留日本人 383人(3ヵ月以上の長期滞在者)
- (11) 気候 南半球に位置するため季節は日本とは逆になる。11~2月頃がもっとも暑く、6~9月頃は朝晩に冷え込むことがある。  
各月の平均気温は23~28度であり、年間を通じて過ごし易いと言える。日本のような明確な四季の区分はなく、1年は概して5~11月の乾期と12~4月の雨期に分けられる。  
主島であるビチ・レブ島の西部地区(国際空港のあるナンディ及び周辺の離島、リゾート地区)は一年を通して晴天に恵まれることが多いが、東部地区(首都スバの周辺)では、雨量が多くなる。その他の島の気候もそれぞれ異なるが、同様に過ごし易い。スコールと呼ばれる短い時間に集中的に降る雨(夕立のようなもの)が多い。  
大型のサイクロン被害が過去20年間において1993年、2005年及び2008年1月に発生(特に1993年の被害が甚大であった。)しており、今後も特に雨季のシーズンには発生が予想される。

## 【参考】

<http://www.statsfiji.gov.fj/index.htm>

(「Fiji Islands Bureau of Statistics」ホームページ)

「外務省ホームページ／各国・地域情勢」

「平成19年外務省在留邦人統計(平成18年10月1日現在)」

## 2.業務のための基礎データ

### (1) JICA事務所の概要(フィジー事務所／大洋州地域支援事務所共通)

住所 : Level 8, Suva Central Building, Corner of Pratt Street and Renwick Road,  
Suva, Republic of Fiji Islands

郵便物宛先 : JICA Private Mail Bag, Suva, Fiji

連絡先 : 国番号 : 679

市外局番 : なし

電話 : +679-3302522

FAX : +679-3302452

URL : <http://www.jica.go.jp/fiji/index.html>

E-mail : [fj\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:fj_oso_rep@jica.go.jp)

執務時間 : (月～金)8:30～16:30 (昼休み)13:00～14:00

休日(2008年) : 下記祝日と土曜日、日曜日。

1月1日	New Year's Day
1月2日～3日	行政機関の休日 *
2月11日	建国記念の日 *
3月10日	National Youth & Commonwealth Day
3月17日	Prophet Mohammed's Birthday
3月21日	Good Friday
3月24日	Easter Monday
5月30日	Ratu Sir Lala Sukuna Day
6月16日	Queen's Birthday
9月15日	敬老の日 *
10月10日	Fiji Day
10月28日	Diwali
12月23日	天皇誕生日 *
12月25日	Christmas Day
12月26日	Boxing Day
12月29日～31日	行政機関の休日 *

\* 印は日本の祝日

事務所までの交通:

#### 【ナンディ(Nadi)空港から】

ナンディ空港は、事務所所在地の首都スバから西方約200kmに位置しており、所要時間は車で約3時間半である。(ナンディ～スバ(ナウソリ)間には国内航空線が就航している。)

車で移動する場合には、各種路線バスおよびタクシーを使用するのが一般的である。なお、夜間は4時間以上かかる上に、路上の照明が十分でなく事故が多いため、昼間の移動をお勧めする。

路線バスは、一部ツーリストバス(要予約)を除き、スバのマーケットに隣接したバスターミナルに到着する。料金はバス会社によって異なるが、ツーリストバス(Coral Sun Express)が約30ドル、その他の路線バスは15ドル未満である。一方タクシーは、150ドル～170ドルが相場(要事前交渉)で、予め事前に手配を行っておくことをお勧めする。

#### 【ナウソリ(Nausori)空港から】

スバ近辺にあるナウソリ空港には、ナンディ空港から国内線を利用して30分程度で到着する。ナウソリ空港には、トンガおよびツバルなどからの一部国際線も就航している。

ナウソリ空港から事務所までは、車で約30分である。空港からスバ市内まで直通する路線バスはないため、タクシーを使用することが一般的である。料金は約30ドルが相場で、乗車前に運賃確認が必要である。

#### 【空港以外から】

タクシーの場合は「Suva Central Building」で、スバ市内からの殆どの場合には通用する。万一通じない場合には、「Suva Central Building next to the Reserve Bank / diagonally opposite to the Central Police Station」でも通じる。事務所へは、Renwick Road 側の両替所と洋品店 "Brown Sugar" の間の自動ドア (Quest Serviced Apartmentsの看板がある) から入り、奥のエレベータで8階まであがる。

#### (2) 日本との時差、 サマータイム

日本との時差 : +3時間(日本時間が正午12時の場合、フィジーでは午後3時)  
サマータイム : 実施していない。

#### (3) 祝日、 官公庁の休日

祝日(2008年) :

1月1日	New Year's Day
3月10日	National Youth & Commonwealth Day
3月17日	Prophet Mohammed's Birthday
3月21日	Good Friday
3月24日	Easter Monday
5月30日	Ratu Sir Lala Sukuna Day
6月16日	Queen's Birthday
10月10日	Fiji Day
10月28日	Diwali
12月25日	Christmas Day
12月26日	Boxing Day

官公庁の休日 : 上記祝日と土曜日、日曜日。

#### (4) ビジネスアワー

官庁 : 08:00～16:30(土日休み)  
銀行 : 09:00～16:00(土日休み)  
商店 : 08:00～17:00(月～金)、08:00～14:00(土)(日曜日休み)

#### (5) 言語

業務 : 一部の地方・離島部でなければ英語が十分通用する。  
ホテル、買い物、食事 : 英語が十分通用する。市場、一般商店などではフィジー語およびヒンディー語も広く使用される。

#### (6) 通貨

通貨 : フィジードル(1フィジードル=100セント)  
為替レート: 1フィジードル=0.6498米ドル=74.67円(2007年12月27日現在)

## (7) 関係機関

## 【在外日本関係機関】

在フィジー日本国大使館

住所: 2nd Floor, Dominion House, Suva, Republic of the Fiji Islands

電話: (国番号 679) 330-4633

FAX: (国番号 679) 330-2984

財団法人 海外漁業協力財団(OFCF) フィジー駐在員事務所

住所: Suva City New Town Hall Annex, Suva, Republic of the Fiji Islands

電話: (国番号 679) 330-4044

FAX: (国番号 679) 330-4069

## 【フィジーの関係官公庁】

Ministry of Foreign Affairs, International Co-operation and Civil Aviation

住所: 8th &amp; 9th Floor, Suvavou House, Suva, Republic of the Fiji Islands

電話: (国番号 679) 330-9645

FAX: (国番号 679) 330-1741

## (8) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/fiji/index.html> (外務省「各国・地域情報」)<http://www.anzen.mofa.go.jp/info/info4.asp?id=76#header> (外務省「渡航関連情報」)[http://www.fj.emb-japan.go.jp/JapaneseVersion/index\\_j.html](http://www.fj.emb-japan.go.jp/JapaneseVersion/index_j.html)

(在フィジー日本国大使館)

<http://www.fiji.gov.fj/> (フィジー政府公式サイト)<http://www.fijitimes.com/> (新聞社「Fiji Times」サイト)

## Part 2 生活情報

※「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

### 1. ホテル、住宅



#### 1-1 ホテル

ホテルは、ナンディ、コーラル・コースト中心にリゾートホテルが多くあり、ゴルフ場やスパ（温泉）等を備えた高級リゾートもある。またナンディ国際空港近郊には出張や帰赴任時の前泊、後泊に利用できる安価なホテルもある。空港への送迎サービスもあるので、予約時に利用の可否を確認する。フィジー在住者は割安単価が適用される場合もあり、同様に予約時に確認する。

出張等で滞在の場合は殆どがスパのホテルを利用することになる。JICA フィジー事務所が入っている Suva Central Building の 6～7 階がホテル (Suva Quest Serviced Apartments) になっており、便利である。1泊 F\$115 (税サービス込み、朝食なし) からあり、ミニキッチン、ランドリー付きの部屋もあり長期滞在も可能である。

また、より安価なホテル (キッチン付き、F\$70～90) も事務所近辺に数軒あり着任時に住居が決まるまでの間、利用する関係者は多い。各ホテルの詳細はイエローページを参照。

#### 1-2 住宅事情

ここ最近、アパート・マンション建設ラッシュが続き、邦人をはじめとした外国人が住む物件が増え、供給が満たされつつある。アパートの場合、家賃は単身向け (1LDK) で F\$1,800 前後から、世帯用 (2～3LDK) で F\$2,200 前後からある。

独立家屋には 2 階が居住部分、1 階が車庫および使用人室となっているものも多く、また、防犯上も好ましい。1、2 階とも同じ間取りで 1 階に家主が居住し、2 階を貸しているフラットといわれるところもある。フラットは防犯上からも単身赴任者などに適している。

防犯上、単身者はセキュリティー対策のとられたアパートに入居することが多く、その方が便利でもある。一軒家の場合は、警備員を雇い、各窓にはバーグラバー (窓に取り付ける侵入防止用の鉄格子枠) が取り付けられた安全対策の整った家を探す必要があるが、場合により適切な住居を見つけるのが困難な場合もある。

#### 1-3 住宅の探し方

斡旋業者や新聞広告を利用したり、前任者、在住邦人から紹介を受けて探す。

#### 1-4 住宅選定上の留意点

住宅を選ぶときは、以下の点に留意する必要がある。

#### ・立地

通勤、買い物、通学に便利な場所(スクールバスの経路など)であること。また、周辺の治安や景観、静かさ、風通しなどを確かめる。

#### ・防犯

一戸建て(戸建ての平屋か 2 階建て)、フラット(2、3 階建てのワンフロア)、アパートメントの何れとするかで確認するところは若干異なるが、できれば家の周囲三方をほかの住居に囲まれていることが望ましい。フェンスの有無、バーグラブの有無、網戸(Screen)、ドアの強度(特に主寝室)、各出入り口の鍵数、電子警報装置、防犯灯の有無や機能等の防犯体制は特に念入りにチェックする。Caretakerと呼ばれる管理人やセキュリティーガードが 24 時間常駐しているか、また、警備員の配置が住宅の契約に含まれるか否かも重要な確認点である。

#### ・設備

天井のファンやエアコンの有無と機能、家具の有無やハウスキーパー(家政婦/夫用)の部屋を確かめる。なお、家具をつけるかつけないか選択できる場合もあるので不動産業者もしくは直接家主と要相談。

### 1-5 住宅の契約

契約は数カ月間でもよいが、2~3年の長期契約のほうが有利な場合が多い。家賃は毎月初めに家主の銀行口座に振り込むもしくは小切手を家主に渡すのが一般的である。敷金1~2ヶ月分(退去時に返却される)を支払うケースが多い。

### 1-6 ガス、水道などの手続きと管理

電話は、Telecom Fiji に新規に申し込む。外国人の場合は手続き料に約 60.00 フィジードル、設備保証金(解約時に返却)が 250.00 フィジードルかかり、その他工事費などが別途必要である。毎月の基本料金(電話機、回線借料)は約 25.00 フィジードルである。

水道代は、物件にもよるが、家賃に含まれることもあるので、個別に確認する。

電話と電気は毎月、上下水道は 2 ヶ月に 1 回請求書が送付されてくる。記載された指定期限までに支払わないとすぐに供給を停止されてしまうので注意が必要である。ただし、何れも任意の額を前払いすることにより、毎回の支払いの手間を一定期間省くことも可能である。

ガスはプロパンガス(Fiji Gas)。ガス会社または代理店やスーパーなどでガスボンベを購入する場合とアパートではメーター制の場合もある。

生ゴミは基本的には週3回、市の清掃車が月・水・金または火・木・土に収集する。ごみの分別回収はなく、ビール瓶は専門の業者が回収している。アルミ缶、ペットボトルのリサイクルもわずかながら始まっているが一般的ではない。

## 1-7 家電

### (1) 電圧

電圧は 240V であり 日本の電気製品を利用するには変圧器が必要。フィジーでの変圧器の購入は不可能ではないものの取扱店が非常に限られている、もしくは取り寄せになるため入手困難。着任時に本邦等から持ち込むのが望ましい。その場合、日本から持ち込む電気製品の使用電力の総数に合わせて変圧器の定格を決める必要がある。

### (2) コンセント、モジュージャックの形

○(オー)タイプ。

### (3) 家電製品

該当情報なし。



## 1-8 家具保険

家の備え付け家具は家主が保険をかけている場合があるので、契約時に要確認。もしくは、日本の海外旅行総合保険に特約(第三者への賠償責任)を付加することによりカバーすることもできる。

## 1-9 その他

住居侵入犯罪も増えており、安全対策を最優先した住居の選定が望まれる。また、入居後の住居トラブルやクレームに備えて、信頼できる管理人や家主がいる物件を選択することも重要である。

## 2. 衣料、理容



### 2-1 衣料全般

#### (1) 一般事情

蒸し暑い季節が 12 月頃から 3 月頃まで続く。男性は半袖シャツ(ノーネクタイ)とズボン、女性はブラウスにスカートまたはワンピースという服装が一般的である。現地の男性の中でフィジー系男性はスル(Sulu)と呼ばれる巻きスカート状のものを着用することが多い。スルは正装であり、外国人に対しては着用を義務付けられることはないが、特に伝統的風習が強い地方の村を訪問し、式典等のイベントに参加する等正装が必要な場合には、スーツ、ネクタイ着用よりも通気性に優るスル着用は利点があり、また村人からも歓迎されるであろう。

7~9 月の夜間、早朝は 14℃ぐらいまで気温が下がることがあるので、薄手のカーディガン、トレーナーなどが必要となる。

邦人が満足できるデザインや品質は少ないが、オーストラリア製やインド系フィジー人が縫製したフィジー国産及び中国製の衣料が豊富である。あまりこだわらなければ安価で購入できる。

## (2) 日本から持参したほうがよい衣料

綿製品を主体に、一通り持参したほうがよい。特に下着類は各自多めに持参すること。また、女性の靴、サンダル、子供の運動靴なども適当なサイズや品質が少ないため持参したほうがよい。ただし、雨が続くと、かびやすいので高価な物は避けたほうがよい。

そのほか、夏用ズボン、半袖ワイシャツ数枚、ネクタイ、靴下など。着る機会自体は少ないものの、男性は夏用背広かジャケットが1~2着必要である。女性はサマージャケット、ワンピース、ブラウス、スカート、帽子(日除け)など、児童、乳幼児には夏用ふだん着、春、秋用トレーナーなどを持参するとよい。また、特に和服は必要ないが、浴衣は学校、日本人会・大使館関連の行事等で着る機会はある。黒の礼服は日本から持参するのが望ましい。

涼しい時期には中国製の綿や化繊の毛布が売り出されるが、日本のような肌掛けや大判のタオルケットは入手が困難であるので持参するのが望ましい。

## (3) 現地で調達できる衣料

Tシャツ、リゾートドレス、ショートパンツ、ブラ(Bra)シャツ(いわゆるアロハシャツ)などは南国らしいデザインが揃っている。なお、各学校には制服があり、指定の物を当地で用意することになる。

## (4) その他の留意点

湿度の高い時期が長いため、普段から換気や日干しについて気をつけていないとすぐにカビが生えるため、革製品(ハンドバッグ、靴)の持参は最小限にすること。

**2-2 礼装**

## (1) パーティー

男性はブラシャツ(いわゆるアロハシャツのような開襟シャツ)、女性は長めのワンピースを着用するのが正装であるが、もちろんスーツ、ネクタイ姿でも差し支えない。男性用スルも正装である。

## (2) 式典

招待状の指定にしたがう。スーツまたは長袖のワイシャツにネクタイが一般的である。

## (3) 冠婚葬祭

家柄や式場により異なるが、スーツまたは白いワイシャツを着用する。

## (4) その他の留意点

男性は黒、グレー、紺系統の夏物スーツを1着持参すれば十分である。女性はロングドレスがあればパーティーなどで役立つ(当地購入可)。和服は特に必要ないが、浴衣は学校の行事などで着る機会がある。

## 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

### (1) 洗濯

クリーニング店が数軒あり、ドライクリーニングも可能である。

アイロン、洗濯機などは当地で購入可能である。洗濯機、乾燥機は住宅に備え付けられている場合が多い。なお、高価な生地の手洗いは、避けるか或いは事前に十分に処理方法を確認したほうが良い。

### (2) 仕立て、修繕

高い技術はないが、紳士服、婦人服の仕立て、修繕も可能である。婦人用のドレス、エスニック調のドレスも仕立てられる。

### (3) 保管

雨期が長いため、衣類のかびには悩まされる。雨期に入る前に忘れずにクリーニングしておき、晴天の際に風を通したり、エアコンをかけたりする必要がある。

日本から除湿剤を持参すると便利である。大型の密閉容器や防虫剤はスーパーなどで入手できる。

## 2-4 美容院、理髪店

シャンプーしてもらえ美容室は数軒あり、カット 10～15 フィジードル(女性)、パーマ 35～40 フィジードル程度である。最近は韓国人女性美容師も何軒か店を開いており邦人の多くが利用している。ストレートパーマも 100～120 フィジードルで可能である。一般の理髪店はあちこちに散在しており、特に髪型にこだわらなければカット 3～5 フィジードル程度(シャンプー含まず)で整髪してもらえる。

美容・理髪用品は当地のスーパー、ドラッグストア等で各種販売されているが、日本製は少ない。愛用している物があれば持参すると安心である。

## 3. チップ



### 3-1 チップ事情

#### (1) 習慣の有無

チップの習慣はない。

#### (2) 各種サービスに対するチップ

特別のサービスを受けた場合は感謝の気持ちとして渡してもかまわない。

## 4. 食生活



### 4-1 外食

#### (1) 一般事情

市内には本格的インド料理屋、中華料理、韓国料理などの他、軽食(フライドチキン、サンドイッチ、ハンバーガー)店があり、ほとんどの店で持ち帰りもできる。日本食の店もある。チップの習慣はない。

邦人がよく利用するレストランは次のとおりである。場所や営業時間等はイエロ

ーページ参照。

## (2) 飲食店

### <日本料理>

- ・大黒(鉄板焼き、寿司、刺身、一品料理)

鉄板焼きが主力で、昼の定食としてはカツ丼、寿司、エビフライ、天ぷらなど。地元民にも人気のあるレストランで、夕食については予約した方が確実。昼 15 フィジードル～、夜 40 フィジードル～。18:45 までの日替わりがお得。

- ・Shabushabu(しゃぶしゃぶ、寿司、刺身、一品料理)

韓国人オーナーのしゃぶしゃぶレストラン。牛しゃぶしゃぶ以外にも鳥しゃぶしゃぶなどもある。寿司メニューもある。予算 40 フィジードル～。

- ・Zen(定食、寿司、刺身、焼き鳥)

韓国人オーナーのレストラン。刺身はいつもあるとは限らないが新鮮。予算 20 フィジードル～。

### <中華料理>

- ・四川楼酒家(Sichuan Palace)

店のオーナーがよく代わり、そのたびに味が変わるが、総じて平均点は取れている。若干高級風の店。

- ・首都飯店(Capital Palace)

飲茶の店。平日の昼食は、飲茶の他、各種中華料理、デザート類のバイキング形式で 15 フィジードル。日曜の昼はおかゆも提供。個室有り。

- ・Vine Yard Palace

クラシックな建物にある中華料理屋。昼はビュッフェランチ。個室有り。

- ・Chop Sticks Seafood Restaurant

一般的な中華料理屋。カニ大皿(5 人前)30～50 フィジードル。

- ・Fong Lee

魚を丸ごと蒸した料理やエビの炒め物などのシーフードがお勧め。黄色い看板が目印。個室有り。

- ・Noble House

一部古びているものの歴史を感じさせる建物にあり、高級感のある中華料理屋。コース 15 フィジードル程度～。

- ・The Great Wok of China

高級感ある本格的な中華料理。

- ・Quick Wok

The Great Wok of China の元コックさんが始めたよりカジュアルで安めの中華料理屋。

- ・Summer Palace

客のほとんどはフィジアン(インド系、フィジー系とも)の定食屋。安いが若干薄暗い路地にあるため一人での訪問は避けたほうが無難。麻婆豆腐、Fish

Lolo(唐揚げ魚のココナッツ煮)がおすすめ。コンビネーション・ロングスープ 4  
フィジードル〜。

・Yang's Restaurant

きし麺風のあっさりしたヌードルが人気の小さな定食屋。太麺か細麺、具材  
(ワンタン、ポーク、フィッシュボール等)を選ぶ。ワンタン・ロングヌードル4ドル〜。

<韓国料理>

・Seoul House

Southern Cross Hotel の最上階に位置する清潔感のある韓国料理屋。焼肉、  
冷麺がたくさん的小鉢とともに出てくるのが嬉しい。予算 20ドル〜。

・Korean House

焼肉、冷麺。予算15〜。キムチや豆腐も売ってくれる。

・Da-kyung Garden

平屋一軒家で非常に家庭的なお店。焼肉、冷麺。予算 15 ドル〜。キムチや  
豆腐も売ってくれるし、マッコリ(韓国ドブク)を頼めるときもある。

<イタリア料理>

・L'Opera

カジュアルでも可だが、スパではおそらく一番お洒落な高級イタリア料理店。  
予算昼 30ドル〜、夜 50ドル〜。

<西洋料理>

・JJ's on the Park

Black and Blue Tuna、JJ's Burger 等、値段は高いがおいしい一品料理もある。  
生ビールもある。

・The Point After J

海に張り出したテラスでステーキ、シーフード、ハンバーガーなどが食べられる。  
種類の多いサラダバーが人気。ウェイティング・バーもあり雰囲気は良いが、  
海側テラスは風の強い日、干潮の時はお勧めしない。JJ's の姉妹店。

・Tiko's

JJ's の筋向かいにある船上レストラン。サラダバーもあり雰囲気は良いが、食  
事には当たり外れがある。

・Aberdeen Grill

Noble House(中華)と同じクラシックな建物にある高級洋食屋。ステーキ等。  
コース 15〜35ドル。

・Malt House Brewery & Restaurant

黒、ラガー、モルトなど、奥の工場で醸造している地ビールが飲める。レンガ  
火釜で焼く手作り数種類のピザも、他の店のよう甘くなく定評がある。

・Nasese Restaurant

Fiji Institute of Technology(FIT,フィジー技術学院)の Hospitality&Tourism  
学科の生徒の実習の一環として期間限定経営されている。要予約。ランチ 10

ドル、ディナー15ドル。

#### <インド料理>

##### ・Mayadaba

一番新しいインド料理。非常におしゃれな雰囲気。Victoria Parade 沿いにある土曜日曜も開いているのが嬉しい。料理もおいしい。15ドル～。

##### ・Ashiyana

北インド料理。酒類あり。

##### ・Copper Chimney

チキン、海老、ほうれんそう、ポテトカレー等おすすめ。ラッシー(インド風ヨーグルト)も絶品。個室もあり高級な店。

##### ・Curry House

人気のカレー店。手頃な値段でカレー、ダールスープ、サモサなどが食べられる定食屋。

##### ・Singh's Curry House

「Curry House」をほんの少しだけキレイにしたような雰囲気。骨付きより高いがボーンレスチキンカレーやレバーカレーがおすすめ。テイクアウト可。土日も開いているのが嬉しい。

##### ・Hare krishna

ベジタブルカレー、インド料理専門のチェーン店。安心できるおいしさ。

#### <ファーストフード>

##### ・McDonald's

ほとんど日本のマクドナルドと変わらない。モーニングメニューもあり。

##### ・Kentucky Fried Chicken

日本のチキンと若干味が違う。

##### ・Nando's

ポルトガル風ローストチキンのファーストフードチェーン店。JJ's 近くと南太平洋大学スバ本校(Laucala キャンパス)近くにある。

## 4-2 食料

### (1) 一般事情

特殊な物や季節の物を除き、日常の食生活に必要な物は、すべて公設市場やスーパーマーケット、個人商店などで入手可能である。食料が不足して買い置きしなければならないような事態はほとんどない。日本食品も多少ある。輸入食品も東洋、西洋(特にオーストラリア、ニュージーランド)の物など質・量ともに多種多様である。

### (2) 主な食品の出回り状況

#### <米>

長粒米、短粒米(日本米と同様)ともに、スーパーマーケットで容易に入手でき

る(FMF サンホワイトおよそ 12 フィジードル/10kg)。中華食材店ではオーストラリアで精米しているサンホワイトを輸入している(およそ 17 フィジードル/10kg)。

#### <パン>

パン屋は多い。6:00 から 18:00 まで営業しており、焼きたてを常時入手できる。また、大手スーパーマーケットでも入手可能である。クロワッサン、フランスパン、パイ、ピザなどを置いている店もある。

#### <肉類>

牛肉、豚肉、鶏肉、羊肉(ラム)、山羊肉があり、部位別に販売されている。ひき肉、レバー、ハム、ソーセージ、ベーコン、鶏卵なども揃っている。イスラム教徒向けのハラール食品を扱っているところもある

#### <野菜>

フィジー国内で生産されたものをはじめ、ニュージーランド、オーストラリアからの輸入品もあり、種類は豊富である。

公設市場では、白菜、チンゲンサイ、菜の花、ネギ、モヤシ、ホウレン草、ゴーヤー、オクラ、カボチャ、キュウリ、セロリ、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ等が入り入手可能であるが、日本のようにハウス栽培を行っていないため季節限定の野菜も多い。白菜やキュウリなど量り売りの野菜もあるが、多くの場合、ひと山 1 フィジードルで売られている。

ゴボウなど日本独特の野菜や生のキノコ類はないが、三つ葉、春菊、ニラなどは自宅で栽培できる。

香辛料は公設市場、スーパーマーケットで入手可能。竹の子やエノキは中国人食料品店で水煮缶詰で入手可能。

#### <果物>

バナナ、パイナップル、リンゴ、パパイヤ、オレンジは常時入手可能である。季節によりスイカ、マンゴー、輸入品のイチゴ、柿、ナシ、ミカンなどが出回る。

#### <魚介類>

天候にもよるが、スバの魚市場では近在の漁民が水揚げしたリーフフィッシュ各種、カツオ、マグロ、タチウオ、サヨリ、メアジなどを入手できる。ときにはカニ、大型のエビ、アナジャコ、タコ、ウニ、二枚貝、巻貝、海草も見られる。スーパーでも鮮魚、エビ、イカなどを扱っているほか、魚専門店では3枚おろしにしてもらうことも可能である。ただし、タイ系の魚についてはシガテラ中毒(魚肉中の自然毒に起因する食中毒;調理過熱により防ぐことはできない)に注意する必要がある。

また、さばくのは一苦勞であるが、輸出漁業会社から刺し身用のマグロ(キハダ、メバチ)も購入可能である。

#### <調味料>

日本製を含め、酢、ミリン、醤油、味噌などが入手可能である。洋風、中華風の調味料も多種揃っている。

#### <食用油>

原料は外国から輸入して国内で精製している。品質はよい。キャノーラ油、大豆油、コーン油、マーガリンなど各種揃う。日本では使わないがココナッツオイルや牛脂(ギー)等も一般的に出回っている。

#### <乳製品>

バター、チーズ、ヨーグルト、牛乳など。国産、ニュージーランド産が各種ある。

#### <酒類>

ビール(フィジー産 4 種類)、フィジー産ウイスキー、フィジー産ラム酒、輸入ワイン(オーストラリア産、ニュージーランド産)は種類も多く値段も安い。ただし、度数の高いいわゆるハードリカーの輸入酒は、高い関税率のため非常に高価である。

日本酒はあるが非常に高価であり種類も少ない。ナンディの日本食材店でオーストラリア産の日本酒「豪酒」を入手できる。

#### <飲料水>

水道水の水質は軟水で比較的良質であるが、長雨や洪水の際には濁ることがある。アメリカ等に輸出されるレベルのフィジー産ミネラル・ウォーター「Fiji Water」が市販されている(2.7 フィジードル/1.5 ㍓)ほか、清涼飲料水も各種ある。

#### <その他>

豆腐は現地の中国人もしくは韓国人が製造しているものをスーパー等で入手できる。また、若干高価ではあるが日本製の真空パック豆腐も大型スーパーで購入可能。

### (3) 食料の入手

スバの公設市場では新鮮な野菜、果物、魚介類が入手できる。公設市場では、多くの場合、ひと山1フィジードルという価格設定になっている。住宅地の近くや主要道路沿いにも小規模な野菜市場やスーパーマーケットが多数あるので、日常の買物には不自由しない。

日本食材を扱う店では、醤油、ミリン、酢、味噌、だしの素、つゆの素、トンカツソース、マヨネーズ、カレールー、冷麦、そうめん、中華めん、コンニャク、七味唐ガラシ、ワサビ、ワカメ、漬物パックなどを購入できる。価格は日本での3倍～5倍であり非常に割高感を感じる。

ごま油、大豆、小豆など中華との共通食材は常時ある。

## 4-3 食器、調理器具

### (1) 食器、調理器具などの入手

冷蔵庫、トースター、ミキサー、電子レンジなどの家庭用電化製品は各種入手できる。

多くの場合、借家には冷蔵庫、洗濯機、オープン・グリル付きガス台(または電

気クッカー)が備え付けられている。

中国製炊飯器、鍋、中華鍋、フライパン、西洋包丁、まな板、おたま、フライ返し、蒸し器、竹串などの調理器具、中華用食器、コップ、フォーク、スプーンなどの洋食器、割り箸などはスーパーマーケットや食料品店で入手できる。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

高機能炊飯器、和包丁(刺し身、出刃包丁)、すりこぎ、すり鉢、茶碗、汁碗、茶漉し、小鉢、湯のみ、塗箸、おろし金、焼き網、缶切りなどは持参したほうがよい。

## 5. 生活用品の購入 5-1 家電製品



一般的な家電製品(冷蔵庫、掃除機、レンジ、炊飯器、テレビ、ビデオ、DVDプレーヤー等)は、電気店で購入可能。すぐ壊れる場合もあるので保証書代わりの領収書は必ず保管しておくこと。なお、予め借家に備え付けられている場合も多い。

### 5-2 家具

多くの場合、家具付の住居を借りるため家具を購入する機会は少ないが、賃貸契約条件によってはその必要がある。また、家主との交渉しだいでは、自分で家具を選び、家主が負担してくれる場合もある。

家具店は、日本人の趣味には合いにくいのが、品数の多い大型家具店から小規模家具店までいろいろ存在する。また、オーダーメイドができる業者も幾つかある。

Pacific Greenという家具会社で製造されている椰子材で作られた重厚な家具が品質も高く人気がある。

### 5-3 日用品、雑貨

Vinod Patel, Rup's Big Bearなど大型店日用品店舗やMHスーパーマーケット(MHは創業者の氏名の略)、もしくはCumming Street沿いの個人商店などで手に入る。輸入物はオーストラリア、ニュージーランド産が主である。

### 5-4 工具、素材

Vinod PatelやManubaiなどで工具、ペンキ類を購入できる。専門性の高い特殊な素材でない限りフィジーで入手可能。

## 6. 金融機関



### 6-1 金融機関

営業時間は、月曜日～木曜日:9:30～15:00、金曜日:9:30～16:00 となっている。

**(1) 銀行**

ANZ BANK、WESTPAC BANK、COLONIAL BANK(何れも豪州・ニュージーランド系の多国籍銀行)は、支店や自動引出機数が比較的多くて便利である。フィジー在住の外国籍者の多くは、これらの銀行に口座を開設している。

**(2) 口座の開設と閉鎖**

パスポートの提示と口座開設入金用の現金(銀行によっては、入金最低額が決まっている場合がある)が必要。即日、開設できる。キャッシュカードの発行申請が同時に出来る場合もあるが、発行までには、1~2週間くらいはかかる。キャッシュカードは、通常2年程度で更新される他、一定期間使用しないと無効化される。任期終了時には、必ず口座を閉鎖して残金を回収することが必要である。多額の現地通貨を外貨に交換する場合には1回あたりの上限額があるので、予め準備が必要である。

**(3) 小切手**

小切手の利用は可能である。銀行開設時に小切手口座を指定すれば、登録住所に定期的に送付されてくる。

**(4) 換金方法**

銀行や市中の両替所で交換できる。T/C、現金のいずれでも可能。通常パスポートなど身分証明書の提示が必要である。その他、米ドルやフィジードルから日本円や豪州ドルなどへ換金する際には航空券(出国することを証明できるもの)も必要になる。

なお、ANZ BANK の場合、フィジーの口座から日本の口座への送金が可能(現金から口座への送金は不可能)で、手数料は、金額に関わらず、一件につき、25 フィジードルである。

**6-2 クレジットカード**

VIZA、MASERCARD、AMERICAN EXPRESS、JCB の各カードが主要ホテル、外国人向けのショッピングセンターなどで利用できるが、一般商店では通常使えないと考えた方がよい。

**7. 交通事情****7-1 交通手段****(1) 一般事情****<市内バス>**

乗車距離に応じて 50~70 セントで利用できる。市販のスバの地図にバス路線が明示してある。運行数は路線によるが、多い路線では約 10 分おきに運行している。前方のドア(1カ所のみ)から乗降し、乗車時に運転手に運賃を支払う。5 ドル位まではつり銭が出てくるが、それ以上の金額では、つり銭が出ない場合があるため、乗車前にあらかじめ小銭を用意しておく(バス会社によっては「20 ドル以

上の紙幣は受け付けない」と明示しているところもある)。窓ガラスがない車両が多いので、降雨の際は丸めてあるビニールシートを垂らす。運転が粗く、乗降口や窓が開放式のものも多いため、振り落とされないように十分に留意する必要がある。降車時は、降車するバス停が近づいたら壁沿いに設置してあるヒモを引いて運転手に伝える。

#### <タクシー、ハイヤー>

台数は多い。市内のタクシースタンドから乗車するか、流しを利用する。大手のタクシー会社には無線があり、電話で指定された場所に配車してくれる。

スバ市内では、ほとんどのタクシーが料金メーターを装備している。乗車したら忘れずに料金メーターの動作を確認する。初乗り料金は 1.5 フィジードルで、250 mごとに 10 セントずつ加算される。22:00～6:00 は夜間割増で 50 セント加算され、2 ドルが初乗り料金となる。スバ市内であれば、およそ 5 フィジードル以内で移動できる。10 ドル以上の紙幣を出すと「釣りが無い」と言われることもあり、事前に 2 ドル札や小銭を用意することが望ましい。

一方、スバ市内から郊外へ行く場合や、スバ市内以外の場所では、メーターが装備されていない(または装備されていても使用しない)ため、料金の(事前)交渉が必要となる。相場としては、スバ市内からナウソリ空港までは約 25～30 フィジードル、スバ市内からナンディ国際空港までは 150～170 フィジードルが目安である。

#### <長距離バス>

各主要都市間を定期的に運行しており、時間はかかるが料金は安い。大きな町では乗車前にバスターミナルの窓口か乗車口でチケットを購入してから乗車する。その他の場所から乗車する際には、乗車して着席してから、車内を巡回してくる車掌に行き先を告げて料金を支払い、チケットを受け取る。行程途中で、休憩時間が設けられている路線もあるが、再乗車の際にチェックされることがあるため、トイレなどのためにバスから降りる際はチケットを持って降りたほうが良い。

ビチ・レブ島の場合、首都スバ～第2都市ラウトカ間を南のクイーンズ・ロードと北のキングス・ロード経由で結んでおり、各路線を数社が運行している(1日 6～17 便)。ただし、キングス・ロードは道が悪いため、スバ～シンガトカ～ナンディ～ラウトカ～バ(Ba)間は、よほどの理由がない限りクイーンズ・ロード経由を選ぶこととなる。一方、キングス・ロードに行くバスは、道がよくないため、降雨時には途中で運転を取りやめたり、途中でバスがエンストしたりする可能性もあるため、天候や道路状況を確認したうえで利用し、降雨時の不要不急のバス利用は避けたいほうが無難である。クイーンズ・ロード経由でスバからラウトカまでは急行で約 4～5 時間、料金は 15 フィジードル未満(ツーリストバス Coral Sun Express は除く)である。

### <フェリーボート>

Consort Shipping Line や Patterson Brothers Shipping 等の連絡船がビチ・レブとバヌア・レブ、タベウニ、カンダブ、オバラウ(レブカ)およびその他の島々を結んでいる。スバ～サブサブ間の所要時間は約 12 時間、料金は 30 フィジードルが目安である。

### <国内航空>

主要都市間や、ビチ・レブとバヌア・レブ、タベウニ、カンダブ、オバラウ(レブカ)およびその他の島々の間を、主として Pacific Sun(Air Pacific の子会社)と Air Fiji(国内線メイン)の 2 社が結んでいる。ナンディ～スバ間は最も便数が多く、1 日約 10 往復している。離島へは 1 日 2 便から週 1 便ほどの間隔で運航されている。なお、ナンディ～スバ間でも最大で 30 人乗り程度の小型機のため(離島便はさらに小型機の場合が多い)、大量の機材を携行する場合等は積載を断られることがある。

料金は、格安運賃をはじめとして、さまざまな値段帯が設定されているが、ナンディ～スバ間の場合、片道 130～140 フィジードルがおおむねの目安である。

#### (2) 空港から市内への移動

ビチ・レヴ西側のリゾート地区にあるナンディ国際空港(日本からの直行便が離発着)から首都スバまでは、陸路で直接スバ市内に入る方法と、空路でスバ(ナウソリ)空港まで飛び、そこからタクシー等でスバ市内に入る方法がある。詳細は、「業務のための基礎データ」における「事務所までの交通」の項を参照。

#### (3) 自家用車を利用する場合

運転マナーはよいとはいえず、ウインカーなしの右左折、飲酒運転やスピードの出し過ぎが見られる。整備不良の車両も多く、片目のヘッドライトでの走行も見られる。交通事故による死亡事故が毎年数多く報告されている。

首都スバのあるビチ・レブ島では、スバから北周りでナウソリ、コロボウ、ラキラキ、タブア、バを経てラウトカまで通じるとキングス・ロードと、スバから南周りでラミ、ナブア、パシフィック・ハーバー、コーラル・コーストおよびシングトカ、ナンディを通じてラウトカまで通じるクイーンズ・ロードの 2 つの幹線道路によって、島の外縁部を 1 周できる(約 500km)。クイーンズ・ロードは全線舗装されているのに対し、キングス・ロードでは、コロボウ～ラキラキ間の約 60km が未舗装である。この間は、セダン車でも未舗装区間の通行はできるが、車体下部を傷める可能性があるため、車高の高い自動車を利用するのが望ましい。また、雨天等により相当悪路となることがある。一方、バヌア・レブ島では、ランバサ～サヴサヴ間を除き未舗装道路が多い。

一般的にフィジーの車道は、舗装されていても簡易舗装であるため、穴が多く、慎重な運転が必要である。さらに、幹線道路であっても、郊外では放し飼いにされている牛や馬などが多く、道路に出てくる家畜に注意する必要がある。

ガソリンスタンドは各地にあり、都市には 24 時間営業のスタンドもある。

#### (4) レンタカーなどを利用する場合

AVIS、Budget、Hertz などの世界的レンタカー会社に加え、Thrifty などのローカル会社も多く、主要都市や空港に支店を設けている。カローラ、サニークラスで1日あたり100~150 フィジードル程度が目安である(走行距離無制限)。

#### (5) 地図

詳細な地図は入手困難であるが、大まかな地図はガソリンスタンドや書店に加え、観光案内所でも入手できる。但し、定期的に更新されるわけではなく、地図情報は必ずしも当てにはならない。

## 7-2 交通事故、盗難

### (1) 対処方法

軽い接触事故などは示談にする場合が多いが、事故があった際は、必ず警察を呼び(電話:919)、調書を作成してもらうのが望ましい。併せて、加入している保険会社へも通報する。もちろん、負傷者がいれば病院へ運ぶのが先である。なお、事故車両は警察の検分が終わるまでは、勝手に動かさず、事故現場に事故時の状況のまま残しておくのが当地の慣習である。

### (2) 救急病院

スバ近郊であればCWM病院、ビチ・レブ西部ではラウトカ病院に運ばれる。バヌア・レブ島の場合は、ランバサ病院が拠点病院となっている。

### (3) 車両の盗難、車上荒らし

車両の盗難および車上荒らしは増加している。短時間でもキーをつけたまま車両を離れることは危険である。

ドアのロックを忘れずに行う他、ハンドル固定式の盗難防止用品や、警報システム(スバ市内の大型店、電気雑貨店等で購入・取り付け可能)の利用が望ましい。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

日本と同様に左側通行、右ハンドルであり、法規も大差ない。ただし、ラウンドアバウト(ロータリー)および「Give way」標識のあるところでは、右側から来る車が優先である。

制限速度は市内 50km、郊外 80km(一部 60km)である。最近はスピードガンによる取り締まりが多い。

### (2) 罰金、罰則

警察や LTA(陸運局)が検問所を設け、スピード違反、シートベルト着用の有無、飲酒運転、法定車検の期限、強制保険の加入の有無等について確認している。罰金は、状況により異なる。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

中古の日本車が多いこともあり、一般に普及している車種であれば、取り扱い部品店も数多く、純正品から汎用品まで入手できる。

車両を当地に輸送する際、オイル・フィルターなどの交換部品もあわせて送るとより安心である。

### (2) 修理工場

日本車メーカーの各代理店が修理工場をもっており、たいていの修理は可能である。その他、整備・板金・塗装業者が多数いる。

## 8. 通信



### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

交換機の自動化が進められ、離島や地方の一部を除きダイヤル直通である。Vodafone一社独占ではあるが、携帯電話もかなり普及している。公衆電話はカード式で、Phone Cardには3、5、10、20、50フィジードルがある。

#### (2) 国内電話

ダイヤル直通の場合、市内通話には時間制限がなく、1通話12セントである。市外通話は同地域内(Within the region)で45秒まで2セント、その後1分ごとに16セント加算、他地域(Outside the region)へは15秒まで12セント、その後1分ごとに48セント加算される。交換手がつなぐ場合は異なる。

公衆電話からは、ダイヤル直通でも市内3分20セント、市外は3分60セント、他地域へは3分1.40フィジードルとなる。

#### (3) 国際電話

自宅の電話はもちろんのこと、カード式公衆電話や携帯電話からも、ダイヤル即時通話が可能である。日本との通話状態も良好である。国際発信の番号は00で、たとえば東京へは、00-81-3-電話番号となる。料金は1分あたり3フィジードル前後である。また、スバ市内のVictoria Parade沿いにあるFINTEL (Fiji International Telephone)からも発信できる。

#### (4) 携帯電話

携帯電話会社はVodafone Fijiのみで、申し込み時に300フィジードルのデポジットがかかる。電話機は買い取り制で約100フィジードル前後からある。携帯同士で通話した場合、料金は1分60セント程度。

### 8-2 電信

#### (1) ファクシミリ

都市部では普及している。送受信器はTelecom Fijiや電気店、パソコン販売店で購入可能である。本邦から持参する場合は、電圧に注意してトランスを使用す

ること。変換ジャックは当地でも購入可能である。

また、主要都市の郵便局やスバの FINTEL でも送信できる。

#### (2) テレックス

Telecom Fijiで申し込めるが、一般的ではない。

#### (3) 電報

Post Fiji(郵便局。月～金 8:00～17:00)、FINTEL(月～土 8:00～20:00)で受け付けている。

#### (4) インターネット

プロバイダは Telecom Fiji 系の Connect 社もしくは無線プロバイダの Unwired、FINTEL(国際電話外車)子会社の Kidanet の 3 社がある。通信業界の独占開放により、今後もプロバイダが増えてくると思われる。

Connect 社 : <http://www.connect.com.fj/>

Unwired 社 : <http://www.unwired.com.fj/>

Kidanet 社 : <http://www.kidanet.com.fj/>

なお、So-netなど日本のプロバイダが海外ローミング・サービスを提供している場合も多く、その際は当地でのプロバイダ契約をしなくてもインターネット接続ができる。但し、フィジーでの当該サービスが利用できるかどうかは、各プロバイダに予め確認する必要がある。この場合は、日本のプロバイダへ支払う費用の他スバ市内の電話料金が必要となるが、市内通話が非常に安価のため、邦人利用者も多い。プロバイダのローミング・サービス、料金等は、現在契約しているプロバイダのサービス内容を確認するかもしくはインターネットでローミング・サービスを提供しているプロバイダを探す。

### 8-3 郵便

#### (1) 一般事情

郵便事業は電話事業とともに 1996 年に民営化され、サービス状況は良好である。街中には日本のような郵便ポストはなく、ホテルの受付に依頼するか、あるいは、郵便局の投函口へ直接投函しなければならない。

当地～日本間の封書やはがきの送付は、双方から 4～5 日かかる。封書は 15gあたり 81 セント、定型はがきは送付する国にかかわらず 23 セントである(大きなはがきは封書料金)。

郵便物は宅配もしくは勤務先気付となる。私書箱の開設も可能である。

日本からの小包は EMS を利用すると通関が早く、自宅に配達される。

・中央郵便局(Suva General Post Office)

所在地: Edward St.

#### (2) 課税

日本からは航空便、EMS、船便を利用することになる(フィジーは SAL 対象外)。

卵と肉を成分とする食品は検疫の対象となり、手続きに時間を要する場合がある。ときには受け取れないこともある。

小包はまず郵便局から通知が来るので、これを持参して内容確認の上、郵便局で受け取る。内容品を日本語で記入してある場合は、中身のチェックが行われる。録画済のビデオテープは検査後に引き渡されるため、受け取りまで約1週間かかることもある。受取時に手数料の支払いを要する。

なお、長期滞在者が日本から生活物資を送る場合に、着任後6ヶ月を超える場合は、一般の輸入として関税が課されることがある。

### (3) 国際宅配サービス

OCS Fiji Office

所在地: c/o Couriers Documents Parcels Service Ltd.,

23-25 Matua St. Walu Bay, Suva

電話: 313077

FAX: 300391

TELEX : 2381 (2381 COURIER FJ)

## 9. コンピューター



### 9-1 ハード、ソフト

#### (1) 調達の方法

パソコン小売店が数店あり、パソコン本体からプリンタ、モデム、スキャナなどの周辺機器とともに容易に入手可能である。Appleの代理店は少ないが、注文に応じオーストラリアから取り寄せてくれる。

プリンタのインク・カートリッジ、トナーなども入手可能である。価格は本邦量販店の2倍弱程度である。

#### (2) 使用の際の注意

電圧が不安定なのと停電が多いためデスクトップ型パソコンの場合は無停電装置を電源との間に設置するのが望ましい。また、雷や異常電流対策のためにパソコンの電源部分にはサージ防止機能付OAタップなどを利用するのが望ましい。いずれも当地で入手可能である。

#### (3) 修理

パソコンハードウェアの修理はひとつおり可能だが、日本語OSの場合は説明が必要。

## 10. 職場環境、勤務条件



### 10-1 職場環境、勤務条件

#### (1) 就業時間

省庁の執務時間は8:00~13:00、14:00~16:30、金曜日は16:00までである。省庁勤務者が残業することは少ない。土日は休日である。

## (2) 有給休暇

職場によって条件は異なるが、通常は一年間に30日程度の有給休暇の他、病気休暇、慶弔休暇が与えられる。

## (3) 執務室

机、椅子、電話、書架などの基本的な事務用品は整っている。インターネット接続環境は執務先で状況が異なる。

## (4) 通勤事情

外国人の多くは自家用車で通勤しているが、フィジーの一般的状況としてはバス通勤が多い。午前7時半前後と午後4時半以降に通勤ラッシュがあるが、大渋滞というほどのものではない。

自家用車で通勤する場合は市営の駐車場を月単位で借りることになる。参考までに、邦人の通勤時間平均は30分程度である。

## (5) 現地職員の給与支払

月2回、15日と月末日(それぞれ土・日、祝日の場合、直前の平日)に分けて、給与が支払われる。被用者年金や医療保険の保険料などが給与から天引きされる。

## 11. 出入国手続き



### 11-1 入国

## (1) 空港施設概要

ナンディ空港は、ナンディ市の北およそ6kmのところに位置している。飛行機の到着するボーディング・ブリッジから空港到着ターミナルまでは吹きさらしの長い渡り廊下のようにになっている。到着ターミナルに入ると、音楽バンドの出迎えを受け、すぐに入国審査がある。入国審査に続いて、階段を下ると左手に免税店、右手に荷物受取所があり、出口にX線が設置されている検疫所が設けてある。現地通貨が必要な場合は、荷物受取所の隅にある換金所で換金が可能であるが、出口付近にも銀行があり、換金ができる。

## (2) 入国手続き書類

必要書類はA6サイズの青い出入国カードのみである。半分が入国審査用、半分が税関、検疫の申告書となっている。記入上、特に問題となるところはない。

## (3) 入国審査

パスポート、記入した出入国カード等を見せる。

## (4) 税関検査

免税範囲は酒類2リットル、たばこ500本までとなっている。麻薬、銃器はもちろんであるが、肉、卵を含む食品や植物の持ち込みも厳しく制限されており、発見された場合は没収される。観光立国をめざしていることもあり、スーツケースを開けられることはほとんどないが、X線において、疑わしい映像が映った場合、スーツケースを開けて検査することがある。

## (5) 空港内での留意点

預託荷物が未着であったり、紛失した場合は、受け取りターンテーブル近くの航空会社職員に連絡する。盗難は空港駐在の警察官もしくはガードマンに通報する。従って、航空機搭乗時に受け取った荷物のクレーム・タグ（ボーディング・パスの裏などに貼り付けられる荷物預り証）はなくさずに保管すること。体の不調は最寄の係員あるいは航空会社へ通報する。ナンディ空港内には診療所があるが、医師は常駐していない。

## (6) 空港からの主な交通手段

JICA 事務所が空港から離れたスバにあるため、ナンディの国際空港からスバのナウソリ空港に移動し、ナウソリ空港で職員などの出迎えを受けるか、借り上げタクシー／小型バスに乗り換え、陸路にてスバへ移動する。ナンディからスバまでは空路の移動では、飛行機で 30 分の＋ナウソリ空港からスバ市内までタクシーで 30 分かかり、陸路では、車で 3 時間半程度である。国内線は、飛行機の乗り換えには待ち時間（1～3 時間）を要したり、頻繁に出発の遅れがあるため、時間に正確なタクシーを利用する人も多い。また、国内線は、20kg の荷物重量制限があり、荷物が多いときには追加料金を徴収されることを考慮して、バンタイプのタクシーを利用する人もいる。陸路のナンディ～スバ間の運賃はおおよそ 150～170 フィジードルであるが、乗車前に交渉が必要である。また、ナウソリ空港～スバ市内間は 25～30 フィジードル程度である。領収書は、運転手に要求すれば発行してくれる。

## (7) その他の留意点

ナンディ国際空港には到着口を出てすぐ右に ANZ 銀行がある。時間に余裕があれば、必要に応じて現地通貨に交換しておくくと便利である。ナウソリ空港の到着口を出て左へ向かった先に、ANZ 銀行があるが、常時担当職員がいるわけではなく、国際便などの乗客に応じた不定期営業となっている。

**11-2 出国**

## (1) リコンファーム

航空券のリコンファームは不要とされているが、航空会社の手続きミスが皆無ではないので、行った方が良い。

## (2) 出国手続きの概要

ナンディ空港への到着は出発の 2 時間前に行い、搭乗手続きを行う。予め出国カードへの記入を行い、出国審査へと向かう。出国審査の後に、X 線による手荷物検査があり、液体などのチェックが厳しく行われる。手荷物検査を過ぎると、免税店が並び、エスカレータを登ると待合ロビーの周りに免税店およびフードコートがある。ロビーには ANZ 銀行があり、換金ができるが、レートが非常に悪い。

## (3) 空港利用税

航空券発券時に 40 ドルが加算されて請求される。

### 11-3 帰国手続き

#### (1) 帰国時に必要な事務手続き

旅券と出国カードが必要である。

#### (2) 車の処分

買い手を見つけるには新聞広告、ロコミなどの方法がある。個人が買い取る場合はローンが多いため、その手続きなどに時間を要し支払いは遅い。邦人間の売買は本邦で円決済もでき、為替レート上有利である。しかし、売却後の故障などにより気まずいことも起こりうる。そのため、当地の中古車ディーラーや当地の人に売る場合が多い。若干買い取り価格が安くても、支払いが確実な買い手を選ぶ必要がある。売却する場合、登録から5年以内の車両については売り手が税金を支払うことになる。

#### (3) 家財道具の処分

本邦への送付は、輸送業者に依頼して行う。日本国内の輸送手続きも一貫輸送で頼むのが普通であるが、本邦内輸送料の支払いについては見積もりに含まれているかどうか予め確認する必要がある。

不用物品を当国で処分する方法には、新聞広告、ガレージセール、知人が使用人に譲る／売却するなどがある。

#### (4) 住宅の明け渡し

家主へは、契約で決められた期限までに通知する。任期延長の可能性がある場合はその旨もあわせて通知する。敷金がある場合は、通常、最終月の家賃に充当される。家具などに大きな損害があった場合は、その修理代や再購入資金に充当される。

#### (5) 外貨持ち出し規制

フィジードルの持ち出し制限は現行 1 万フィジードルとなっている。口座の閉鎖は銀行窓口で閉鎖用の用紙にサインすればよい。

## 12. 治安、 緊急時の心得



※生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

### 12-1 暴動、クーデターなど

#### (1) 一般事情

1970 年の独立以降、1987 年 5 月及び 9 月、2000 年 5 月並びに 2006 年 12 月の過去 4 回、クーデターが発生している。2000 年のクーデター時には、軍部・警察者に死傷者が出た他、市内でも商店の盗難、放火などがあったことが報告されているが、2006 年のクーデター時は無血であり市民生活に大きな混乱もなかった。

2008 年 1 月時点で、実質的に軍政が敷かれていることもあり、犯罪を除き治安上の大きな問題はないが、今後の政治動向を注視していく必要がある。特に 2009 年には、早い時期に総選挙を行うことが表明されており、その前後の期間混乱が生じることもあり得る。

なお、暴動については、特段報告されていない。

## (2) 対処法

予め発生が予想される場合や発生直後には、自宅待機や、安全地区への避難等を検討する。

## 12-2 強盗、盗難

### (1) 一般的治安状況

銃器を使用した殺傷を含む凶悪な犯罪は多くないが、日中夜間を問わず、すり、ひったくり、住居侵入の発生事例は多い。JICA 関係者も 2007 年度において、計 9 件の被害が報告されている。景気の低迷などにより若年層の雇用機会が少ないこと、失業率の高止まりの影響などが考えられる。

### (2) 住宅の防犯対策

留守中の強盗、夜間の侵入等も多い。アパートにおいては防犯システムの設置や警備員の備上（予め設置・配置されている場合も多い）、1 軒家においてはそれらの個別の配置が望ましい。ただし、警備員も必ずしも信用できない場合がある（配置を勝手に離れたり、不在時に家屋に入って物色するなど）。1 階の道路に面した建物やアパートは避けるのが望ましい。

強盗が、窓ガラスやドアを壊して侵入することも多いので、窓には取り外しにくい堅牢な金属製侵入枠（バーグラマー・バー）が設置されていることが必須。また新規入居時には鍵も交換したほうが良い（コピー鍵により第三者が侵入することを避ける観点から）。

不在時には（ちょっと部屋を留守にする場合も含めて）、必ず施錠し、侵入者の気を引かないように部屋のカーテンを閉めておくこと。貴重品（パスポート、現金、カード、パソコンなど）は、目に付かないところに置く。

一時帰国等長期の不在時には、携帯しない貴重品は、誰か信頼できる人に預けることが望ましい。

### (3) 市中での防犯対策

夜間の一人歩きは避けること。止むを得ず出かける場合は、周囲の人物に注意し、複数の人物やこちらを窺うような風体の人間が近づいてきたときは、避けるか逃げること。

また、バス乗り場などの人ごみの多い場所では、すり被害が多いので、自分の荷物はしっかり保持し、貴重品は肌身につけておくことが望ましい。ポケットの財布、手荷物やリュックサックには留意すると共に、体に触れてくる人物には要注意。

### (4) 注意すべき場所、危険地域

スバ公共バス乗り場、マーケット、ナイトクラブ等

### (5) 被害時の心得

相手が暴力を振るってきたとき、特に刃物等を所持している場合などは、無抵

抗に徹し、また抵抗する意思がないことを示す。その意味でも、大金や貴重品はできるだけ持ち歩かないことが望ましい。万一、被害に遭遇した場合は、直ちに警察に連絡し、指示を受けること。

#### (6) その他

マリファナ等薬物の違法所持、偽札の流通が報告されている。特に前者は当地でも重大犯罪であり、怪しい人物や夜間の歓楽街での不審な勧誘には注意が必要。

なお、当地では、宗教的或いは民族的過激派やテロリスト・グループの活動は報告されていない。

## 12-3 火災、風水害、地震、津波

### (1) 一般的災害発生状況

#### <火災>

JICA 関係者の被害はこれまで報告されていないが、身近に発生した場合は、直ちに消防署(電話 911)に連絡することとなる。

#### <サイクロン、風水害>

サイクロンがフィジーを直撃する事例が増えてきている。風水害の他、電話、水道、電気等のインフラが途絶することがある。また、都市排水機能や河川対策が脆弱であることもあり、大雨が発生した場合は、特に、河川の多いビチ・レブ島北西部(ラウトカ、ナンディ)において大水、冠水等の発生が頻発している。これらの被害が予想される場合は一時避難する場合もあり得る。

#### <地震>

地震は時折観測されているが 1999 年を除き大きな被害は報告されていない。なお、周辺海域での海底地震も、時々発生しているが、同様に被害は報告されていない。

#### <津波>

周辺海域(バヌアツ、トンガなど)では、より大きな地震が頻発するため、津波警報が出されることがある。ただし 1953 年(スバ他で 5 名が死亡)及び 1975 年に発生した以外、大きな発生事例や被害は報告されていない。

### (2) 防災対策

政府による事前の警報体制は貧弱である。ラジオやテレビでは、最新の情報が提供されるので、注意して聴取する。災害による被害が予想される場合は、邦人関係者に注意喚起や対策がなされる場合があるので、それに従うことが求められる。

なお、避難や被災に備えて、常に貴重品のありかを確認し、一定量の飲料水・食品・懐中電灯・ラジオ・電池などを確保しておくことが重要である。また、携帯電話は、常に充電及びメンテナンスを行い、常時携帯することが必要。

### (3) 被災時の心得

身体的な被害については、最寄りの医療機関で治療を受ける。

その他の物理的な被害(家屋、停電、断水等)については、関係機関の復旧を待つことになる。なお、万一、激甚災害が発生した場合は、二次災害の発生や復旧まで時間を要することが予想されるので、避難や上記(2)の対応が重要となる。

## 13. 社交



### 13-1 風俗習慣

国民は、主にフィジー系住民とインド系住民により構成されている。前者はキリスト教、後者はヒンズー教やイスラム教を信仰しており、それぞれの宗教を基盤とした伝統的な風俗習慣を維持している。相手の宗教や習慣に失礼のないよう対応する必要がある。

代表的なところではセブセブと言う儀式(タノアと呼ばれる大きな木の器にコショウ科のカバ(フィジー語でヤングナ)の木の根をつぶし、水で溶いた液を回して飲むことにより客を歓迎する)がある。国家的儀式から結婚式、村訪問の際に至るまでこの儀式が最初に行われる。

最初のクーデター(1987年)後はしばらく「Sunday Ban」により、日曜日は安息日であるとして商業、スポーツ活動などが禁じられていた。現在「Sunday Ban」は廃止され、日曜営業の大手スーパーや小売店も現れている。

### 13-2 パーティーでの留意点

複合人種国家であるため、人種間の問題に触れることは避けるべきである。また、現在の軍事政権の批判に繋がるような発言は控えるべき。

### 13-3 来客時の留意点

特に留意点はない。

### 13-4 訪問時の留意点

個人宅に招待される場合でも、基本的なマナーがあればよく、特別な留意点はない。

フィジアンビレッジ訪問にはヤングナ(カバ)の持参が必須だが、都市では、ごく一般にお菓子やお酒、花束などを持参すると喜ばれる。

### 13-5 禁止されている言動(タブー)

基本的に、西欧的な礼儀を心得ていれば問題はないが、フィジアンビレッジ訪問の際は、村の入口で帽子やサングラスをとるようにする。女性はズボンよりも、つま先まで隠れるスカートを着用するか(膝上を必ず隠す)、または布を腰に巻く

ようにする。

なお、現在、軍事政権が継続しており、公の場での政権批判や政治的話題は避けるべきである。

### 13-6 日本人会

日本人会には会長と、副会長及び事務局長がいる。2007 年時点で JICA フィジー事務所長が副会長を務めている。

### 13-7 現地の人々との交流

特に留意点はないが、現金・物品の貸借には慎重さが必要。

## 14. 教育



### 14-1 教育事情

#### (1) 一般事情

日本の小学校に相当するプライマリースクール(Class 1~8, Form1&2)では無償教育を実施し、義務教育となっている。対象は前年の6月末で満5歳に達した子供からであり、プライマリースクールへの就学率は100%を超える。Class 6~8の間に毎年行われる統一試験を受験し、その成績によって中・高等学校に相当するセカンダリースクール(Class7&8, Form 1~7)の1~3学年にそれぞれ入学する(Class 7=Form 1)。セカンダリースクールは7年制であるが、統一試験の結果によって、6年で卒業し、大学や短大など高等教育へ進学する場合とForm7の高等教育のための準備学年を経て進学する場合に分けられる。

高等教育には、フィジー技術専門学校(Fiji Institute of Technology)、師範学校(Lautoka Teacher College, Fiji College of Advanced Education, Corpus Christi, Fulton College)、フィジー大学(私立)、南太平洋大学(USP: University of South Pacific)、豪州などの外国の学位が取得できる学校やその他各種技術専門学校がある。旧宗主国である英国の教育制度の影響を強く受け、各人の能力によって留年や飛び級など容認されており、就学年数が異なる。各種教材の不足および質の高い教員の不足などから、先進国と比べてその教育水準は低い。新学期は1月から始まり、11月末までに3学期ある。学期ごとに2週間ずつの休みがあり、12月から1月にかけて、長い休暇となる。

#### (2) 日本人学校

日本人学校(補修校を含む)は設立されていない。

#### (3) 現地校、外国人学校

唯一のインターナショナルスクールである International School Suva がスバにあり、邦人子弟の多くはここに在籍している。小学校(6年)、中・高等学校(7年)があり、英語で授業を行っている。

## International School Suva

所在地: Siga Rd LBEst

電話: 339 3300

FAX: 334 0017

備考: 4 学期制。始業 7:55、終業 14:45

現地校はスバ市内に多い。評判のよい学校には入学希望者が集中するため、入学は早めに申し込む必要がある。編入は欠員待ちしなければならないことが多い。法人子弟が現地校に通う場合もある。

## (4) 幼稚園

すべて私立で、YWCA 幼稚園、インターナショナルスクール付属幼稚園、USP 付属幼稚園、School of Angels、Little Ones などがある。通園バスはない

Little-Ones Learning Center

所在地: 66 Bureta St Sbula N

電話: 338 5266

**14-2 入学手続きおよび授業料**

## (1) 現地校、外国人学校

&lt;International School Suva&gt;

2007 年度の年間費用は次のとおりであった(単位: フィジードル)。

登録料: 1,500

施設費: 1,500

授業料: Year 1/2 (Reception)	8,791
Year 3/4	8,957
Year 5	8,973
Year 6	12,332
Year 7	12,321
Year 8	14,237
Year 9	14,898
Year 10	15,905
Year 11/12	15,988

スクールバス: 1 回 2.5

入学手続きに必要な物は、入学願書、親の同意書、子弟の学歴である。入学許可通知書を入手後、授業料などを支払う。授業料は学期ごとに納めてもよい。通学手段は父兄による送迎かスクールバスである。スクールバスは 5 路線あり、各住宅地をカバーしている。住宅選定の際にスクールバスのルートを考慮すること。2008 年度は 1 学期 1/22~3/28、2 学期 4/15~4/20、3 学期 7/15~9/19、4 学期 10/7~12/4 であった。

### <現地校>

小学校では政府が無償教育を実施している関係で授業料は格安である。小学校の場合、入学金はなく、授業料は年間 150 フィジードル、教科書代は 50 フィジードル程度である。各学校により費用は若干異なる。学校の設備向上を目的とする PTA の募金活動はどの学校でも盛んである。

### (2) 幼稚園

直接幼稚園に出向いて入園申込書に記入し、入園金を支払う。たとえば、School of Angels の場合、入園金は 400 フィジードル、年間保育料は 2,000 フィジードルである。通園は父兄の送迎による。

## 14-3 教育関係施設

### (1) 図書館

USP には南太平洋地域最大の図書館があり、登録すれば貸し出し可能である。また、スバ市立図書館もある。すべて英語の書籍である。

## 15. 家庭の使用人



### 15-1 一般事情

在留邦人の一般家庭では、家事全般を手伝うハウス・キーパー(家政婦/夫)を通いか住込み(特に一軒家の場合)で雇用していることも少なくない。通いの家政婦に鍵を預け、平日日中に掃除や洗濯をお願いしている単身赴任者もいる。求職者が多いため求人は容易である。

### 15-2 運転手

タクシーの利用が容易であるため、自家用車運転手の雇用は一般的ではない。

### 15-3 家政婦/夫

#### (1) 仕事の種類と人数

一軒家に住む場合、仕事は、掃除、炊事、洗濯、子守り、料理の手伝いなどである。集合住宅の場合、家主が、管理人(ケア・テーカー)や雑役夫を雇用していることが多い。この場合は、守衛、設備管理、居住人のクレーム対応なども加わる。

#### (2) 雇用

一軒家で直接雇用を行う場合は、前任者の家政婦がいれば引き継ぐか、家主に紹介してもらうこととなる。雇用条件を話し合って契約書として文書にしておくのが良い。

賃金相場は、前任者や家主に確認する。

## (3) 日常管理

貴重品や金銭が盗難される事例もあるので、不在時には貴重品は勘定な金庫や目につかないところへ保管すること。経費は要するが、保安カメラを部屋の入口に導入することも可。

勤務状況が良くない場合は解雇する旨を契約書に挿入したり予め伝えておき、そのような事態になった場合は警告をして様子を見る。

**15-4 庭師、ガードマン**

一軒家で庭師が必要な場合は、家主に紹介してもらい直接或いは間接的に雇用することとなる。

ガードマン(警備員)は、一軒家の場合、予め配置されていることもあるが、そうでない場合は新たに雇用する。家主に相談してみるのが良い。

集合住宅の場合は、予め配置されていることも多いが、そうでない場合は家主に配置を相談するのが良い。

**16. メディア****16-1 新聞、雑誌**

## (1) 現地発行の日刊紙

英語紙の『The Fiji Times』、『Fiji Sun』及び『Fiji Daily Post』のほか、ヒンディー語、フィジー語、中国語紙がある。いずれも朝刊だけで夕刊はない。平日は一部80セント、土日は90セントである。『The Fiji Times』『Fiji Sun』及び『Fiji Daily Post』は宅配可能で、購読は新聞社の窓口で申し込む。1年215フィジードル、6カ月120フィジードル、3カ月60フィジードルである。

## (2) 日本の日刊紙

東京の海外新聞普及株式会社(OCS)に申し込む。1週間程度の遅れで指定の場所へ配達される。

OCS 東京事務所

所在地: 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-9

電話: 03-3453-8311

FAX: 03-3453-8329

URL: [http://www.ocscourier.com/office\\_dir/set\\_world\\_country.html](http://www.ocscourier.com/office_dir/set_world_country.html)

## (3) 欧米紙／誌

オーストラリア、ニュージーランドの新聞は、数日遅れでスーパーマーケット等で販売されている。

## (4) 日本の雑誌、書籍

いずれも、フィジー国内では販売していないので、インターネット等を通じての日本からの取り寄せとなる。(海外新聞・雑誌購送サービス会社の利用)

## 16-2 ラジオ

### (1) ラジオ放送局

国営放送の FBCL が、英語(1089AM、104FM)、ヒンズー語(774AM、98FM)、フィジー語(558AM)で 5:00~24:00 に放送している。そのほか、民間 FM ラジオ局が数多く存在する。なお、FM は日本より高い周波数帯を使っているため日本で売られている通常のラジカセやカーラジオなどでは全ての放送局をカバーできない。周波数帯を変更する器具が必要となる(Dick Smith など当地の電気店で購入可能)。

### (2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

オセアニア向け放送が受信できる。国際短波ラジオ放送の受信が可能なデジタル式の受信機(ソニー製など)を持参すれば選局しやすい。

アンテナをベランダや屋上などに設置すると受信状況はさらによくなる。

#### <ラジオジャパン問い合わせ先>

・NHK国際放送局企画編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から: +81-3-3465-1111 (平日/日本時間10:00~19:00)

日本国内から: 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター/24時間受付)

E-mail: nhkworld@nhk.jp

#### <周波数表、番組表の入手>

URL: [http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide\\_j.html](http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_j.html)

(周波数表、番組表確認)

FAX: +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAX サービス)

郵送: 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

### (3) 聴取可能なその他の外国放送

英国BBCは24時間中継放送している(107.60FM)。オーストラリアABCなどの受信状態もよい。

## 16-3 テレビ

### (1) 地上波放送局

FIJI-ONE1局のみがあり、24時間放送している。FIJI-ONEが自社制作したものは平日15:00~22:00、週末11:00~22:00に放送され、その他の時間はオーストラリアABCなどをリレー放送している。地元ニュースは毎日18:00、22:00に放映される。

### (2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

SKY Pacific(有料放送)では娯楽とスポーツ、CNN 等が約 20 チャンネル放送されている。パラボラアンテナ他機器の購入(リース制度もあり)と設置で加入時 600 フィジードル程(2ヶ月分の月額料金含む)が必要である。

一部のホテルやマンションではNHKワールドやNHKプレミアムを含む衛星放送が受信できるところもある。

### (3) テレビ受信

受信方式は英国、オーストラリアと同じPAL方式である。テレビ、ビデオともマルチタイプが一般的に販売されているので、日本から持参する必要はない。

## 17. スポーツ、 趣味、 語学学習



### 17-1 スポーツ

#### (1) ゴルフ

スバ市内に1箇所、パシフィック・ハーバーに1箇所、ナンディ地区に2箇所ある他、その他の主要都市、離島にもある。また、プライベートコース(9ホール)が設置されているホテルもいくつかある(モキャンボ・ホテル、シャングリラ・ホテルなど)。

#### (2) テニス、フィットネス

市内のあちこちにコートがある。会員制コートやスポーツ協会が運営するコートも使用可能である。スバ市内のビクトリア・コートでは60分4フィジードルで1面を使用できる。

#### (3) その他のスポーツ

National Stadium、National Gymnasium などがあり、ラグビー、サッカーなどの陸上競技やネットボール、バスケットボール、バレーボールなどが盛んに行われている。また、南太平洋大学(USP)内に筋力トレーニングができるジムがある。

プールは市営のオリンピックプールとVodafoneドーム奥の民間プールがある。時間に制限はなく、利用料は1フィジードルくらいである。泳いだ後には必ずきれいな水で目を洗うなどして眼病を予防すること。

スバ周辺の海は汚れており、海水浴には適さない。スバ近辺では、パシフィック・ハーバー、コーラル・コースト、あるいは離島のリゾートまで行くこととなる。

フィジーのあちこちでダイビングを楽しめ、スキューバダイビングの学校もある。海に必要な用具の多くは当地で入手可能である。ダイビング保険に加入すること。

釣りやトローリングは船を借り切ることになるので、経験者と共に複数人で行くのが良い。サーフィンも可能であるが、サメや海難事故に注意する必要がある。その他、乗馬クラブがある。

スバ市内に数軒スポーツ用品店があり、一般的なスポーツ用品は入手可能。

### 17-2 趣味、娯楽

#### <映画館>

映画は主な娯楽として楽しまれている。シネマ・コンプレックスとなっている映画

館 Village Six Cinemas があり、欧米の新作も上映される(英語のみ)。また、日本国大使館では月に1回(第4木曜日)、邦画を上映している。

#### <劇場>

Fiji Arts Club Playhouse(Selbourne St.)があり、同クラブメンバーによってドラマが上演される。

#### <書籍一般事情>

月刊雑誌は、国内の記事が中心である『Fiji Living』、『Fiji Islands Business』などと大洋州地域の情報である『Pacific Islands Monthly』、『Islands Business(Fiji Islands Businessの一部となっている)』などがある。その他の書籍は年間数冊程度の出版である。さらにフィジーで活躍している男性をフィーチャーしている『Turanga』、女性をフィーチャーしている『Marama』のほか、若者向けの『Mai Life』など最近、質の高い月刊雑誌が相次いで発刊されている。

英国、オーストラリア、ニュージーランドなどの出版物は、市内の書店で入手可能である。

#### <文化活動、文化施設一般事情>

展覧会などは年1回程度である。各大使館では小規模な催しをしている。

博物館はサーストン公園内にあり、伝統的な手工芸品、武器、衣装などを展示している。平日 8:30~16:30、土日 14:00~17:00 に開館しており、入館料は大人 7 フィジードル、子供 5 フィジードルである。

スバから西へ車で約 40 分のパシフィック・ハーバーに Market place and Cultural Centre があり、手工芸品の製造過程、フィジーダンス、昔の部族間戦争の様相などが見られる。

スバからクイーンズ・ロードを車で約 20 分のところには Orchid Island Cultural Centre があり、昔の家々や生活、フィジーの動物を紹介しているが現在は休園中である(2007年6月現在)。美術館、水族館はない。

#### <写真>

フィルムはフジ、コニカ、コダックなどのカラー、白黒、ネガ、スライド用があり、写真用の APS フィルムもある。カラー24枚撮りで5フィジードル程度である。現像、焼付にはカラー用の機械を使用しており、30分から半日で仕上がる。料金は24枚撮りで15フィジードル程度である。

カメラ、その他の付属品は種類も豊富で入手しやすく、価格も日本の量販店と同程度である。

#### <ビデオセット>

VHS が主流である。PAL 方式であるが、テレビ、ビデオデッキともにマルチ方式が豊富に販売されている。21 インチのテレビとビデオデッキのセットで 1500 フィジードル程度である。レンタルビデオ店は多く、料金は3フィジードル程度である。

#### <各種テープ>

日本から送付されたビデオテープは検閲後に引き渡される。

### <音楽会、コンサート>

非常に音楽が好きな国民性であるが、クラシックの音楽会は少ない。

### <コーラス、演奏グループ>

Fiji Arts Club がある。

### <ピアノなど>

Dragon Music、South Sea Music などの楽器店で購入可能である。電子ピアノもある。レンタルのシステムはない。

### <CD、レコードなど>

専門店が数軒あり、南太平洋の音楽、インド音楽および洋楽を扱っている。クラシックは少ない。日本人アーティストの物は当地では入手できない(本邦の海外駐在者向け購送システムを利用することとなる。)

### <民族楽器>

ラリという木をくりぬいて作った打楽器がある。リゾートホテルのトーチセレモニーやメケショーなどで演奏している。

### <その他の楽器>

楽器店はあるが、レンタルはない。

### <手芸>

アロハ柄や花柄、南国調の布製品はバラエティもありインド人街の商店で入手可能。ひとつおりの裁縫用品も入手可能だが、デザインの凝ったもの特殊な用具は日本から材料を持参すること。

### <絵画、美術工芸>

手工芸品には木彫りやタパクロスがある。物によって値段はまちまちである。

ガバメント・ハンドクラフトセンターには最も質の高い物が揃っているが、ほかの店と比べて値段は高い。

### <園芸>

ランが自生しており、販売もされている。野菜や花の種子は簡単に入手できる。

### <釣り>

海釣りが主である。貸船があり、ゲームフィッシングも催される。道具は日本製を含めて入手可能である。

### <娯楽、遊戯、ゲーム>

室内の娯楽としてはブリッジが楽しまっている。

### <レジャーランド、遊園地>

常設のレジャーランドはないが、ハイビスカス・フェスティバルなどの際に移動型遊戯施設が開かれる。

### 17-3 語学学習

#### (1) 語学学習施設

Alliance Francaise(フランス語、フィジー語、ヒンディー語)

所在地: 77 Cakobau Rd.

電話: 313802

FAX: 313803

備考: 3学期制。授業料 50~100 フィジードル程度

YWCA(英語)

所在地: Central St.

電話: 304829

備考: 学期制。授業料は 50 フィジードル

上記のほか、International Women's Association が ESL (English as Second Language) の夫人を対象に、英語クラスを週 1 回実施している。メンバーであれば授業料は無料である。

また、主として本邦日本人学生向けの短期英語留学コースを運営している以下の学校がある。

Free Bird Institute Namaka Campus

所在地: Nasilivata Road Nadi Fiji

PO BOX 11065 Nadi Airport Nadi Fiji

電話 6706602

Free Bird Institute Lautoka Campus

所在地: Mission Place Lautoka Fiji

PO BOX 5783 Lautoka Fiji

電話: 6667977

#### (2) 家庭教師

英会話の個人授業は可能であるが、適当な先生を見つけるのは難しい。

#### (3) 通信教育

海外子女教育振興財団によるサービスの他、「こどもチャレンジ」などの民間通信教育もあるので、赴任前に検討して手続きしておくといよい。

・海外子女教育振興財団(ホームページ: <http://www.joes.or.jp>)

教科書は大使館から配布される。当地には日本語書籍がなく、また、日本語に接する機会も少ないので、年齢に応じた各種の書籍を持参するとよい。

## 18. 観光



### 18-1 地方旅行の留意点

国内旅行に対する規制、制約はなく、自由に旅行できる。

おおむね地方ほど治安は良好であるが、村を訪問する際には来訪者をもてなすセブセブの儀式を受ける必要がある他、山中などへの旅行は当国の案内人に

同行してもらった方が安全である。

各観光地へは車またはバス、飛行機、フェリーボートなどで出かけることになる。ホテルは多く、6月から10月まではオーストラリア、ニュージーランドからの旅行者が多く、混み合うことがある。宿泊料金にはローカルレートも見られるので、予約の際に確認が必要である。詳細は観光ガイドなどを参照のこと。

フィジーの観光のポイントは、博物館、伝統的な踊り、古来の生活様式の見学、あるいは海でさまざまなレジャー、スポーツを楽しむことである。

気候の関係で、主な観光地はビチ・レブ島の西部地域に集中している。このあたりのリゾートホテルは、スキューバダイビング、ウインドサーフィン、水上スキー、ヨット、シュノーケル、釣りなどに必要な用具を揃えている。また、テニス、ゴルフ、乗馬用の施設を備えているところも多い。

民芸品としてタパクロス(木の表皮をたたき、繊維にして布にした物)、タノア(カヴァ儀式で使う木鉢)、人形、古来の武器などの木彫品、貝殻細工があり、ホテルやクラフトセンターなどで販売している。

郷土料理として、ロボ(穴を掘って、バナナの葉で包んだ豚肉、魚、タロイモを焼いた石で蒸し焼きにしたもの)、ロコ(野菜や肉、魚をココナッツミルクで煮込んだ物)、ココンダ(サワラ、シャコ貝をココナッツミルク、ライムであえた物)が代表的である。

## 18-2 主要観光地・保養地

フィジーの主島であるビチ・レブ島の西北部に点在するヤサワ諸島やママヌザ諸島の多数の離島リゾート及び国際空港のあるナンディ／デナラウ地区の高級ホテル群は、観光地・保養地として世界的にも知られており、欧米や日本からの観光客も多い。

ヤサワ諸島やママヌザ諸島の離島へは、スバやナンディのホテルのサービスデスク或いは旅行代理店でツアーを受け付けているが、それ以外は、一般に旅行者がホテルや交通手段を手配するのが普通である。

その他、ナンディから首都のスバに至る中間にある、コーラル・コーストやパシフィック・ハーバーも保養地として有名であり、リゾートホテルが建ち並ぶ。

ただし、首都のスバ近辺には、トンベルア島リゾートを除き目立った観光地、保養地やビーチはない。

フィジー東部では、ビチ・レブ島北部のラキラキ、第二及び第三の面積を持つバヌア・レブ島やタベウニ島などにもリゾート地がある。オバラウ島のレブカは19世紀に一時首都が置かれたことがあり、数少ない歴史的文化遺産が保存され、世界遺産にも登録申請中である。

リゾートホテルには、通常の客室の他、ブレと呼ばれる外見が茅葺きの民家タイプの部屋もあり、バーベキューなども可能なほか、大型リゾートホテルでは、メケと呼ばれるダンスショーや火渡りりのショーなどが楽しめるところもある。

ダイビングなどのマリン・スポーツについては、各ホテルに利用の可否を確認して予約するのが良い。

### 18-3 旅行代理店

旅行代理店は主として海外および国内航空券を扱っており、国内外旅行のホテルなどは個人で手配するのが一般的である。また、海外の旅行ツアーを扱っている代理店も殆どない。

フィジー国内の離島ツアーは、ホテルや市中の代理店で扱っている。ホテルなど宿泊施設の手配は、直接電話で予約する。支払いは現金、小切手かクレジットカードを使用する。VISAがフィジーを含めオーストラリア、ニュージーランド、その他の島嶼国でよく利用されており、当地でもカードの取得が可能である。

## 19. 私財の輸送、 引き取り、購入



### 19-1 家財道具

#### (1) 輸送会社

荷物の量、緊急性などに鑑み、同時携行・別送(いわゆるアナカン; 出国前後 6ヶ月以内)・後送、航空便・船便・郵便小包(航空便/船便)などの各区分から選択する。所要期間は、航空便が 3~5 日、船便は横浜、神戸などの国際港から 30日~60 日を要する。

同時携行以外については、国際複合一貫輸送(陸・海・空各種輸送手段の組み合わせ)に実績のある本邦業者を選ぶのが良い。輸出時通関業務も組み込まれている。費用も本邦から任国までのドア・トゥ・ドアで見積もってもらうことが可能であるが、事前に確認が必要。荷物の梱包を依頼する場合は、個別に相談する。

#### (2) 輸入手続き

輸入港は、スバまたはラウトカとなる。本邦輸送業者/通関業者から送付されてきた船荷証券(B/L)あるいはエア・ウェイビル(航空貨物運送状)に、所定の輸入申請書類を添付して税関へ提出し、手続き料を支払う。

当地の輸送・通関業者からも到着の通知があるので、送付先を指定する。

一般に指定した自宅まで届けてくれるが、フィジー国内の輸送・通関等手続き料の支払いの有無は、本邦発送時の支払条件に基づくので、本邦輸出時に確認しておく必要がある。

港に到着後 4 日目以降は倉庫保管料を徴収されるので、早めに B/L を入手することが必要である。外航船の出入港情報は、当地の新聞に掲載されるので参照可能である。

現地の主要な輸送業者は以下のとおり。

### (3) 私財の購入

新品の衣料などは、高額の間税が課される場合がある。

## 19-2 自動車

### (1) 一般状況

日本・英国と同じく右ハンドル車が一般的である。左ハンドル車の運転は可能ではあるが、輸入および登録に際して手間を要するので、避けたほうが良い。

### (2) 輸入手続き

2008年1月より、製造後5年を超える中古車の輸入(持ち込み)は禁止された。新制度でもあり施行要領が不明であるため、今後の5年前後の中古車の持込については、個別に確認することが望ましい。

他の事項については、上記私財に同じ。輸入時の税関及び通関業者への諸掛の支払いを要する。

### (3) 輸出手続

通常海送となる。船便の空き状況にもよるが、通常1~2ヶ月を要する。中古車両のフィジー等途上国宛輸出に経験のある業者を選定するのが良い。他の事項については、上記私財に同じ。なお、2007年1月に導入された中古車両の本邦における輸出前事前検査制度は、2008年1月に廃止された。

### (4) 現地での購入

日本車、欧州車、韓国車の現地ディーラーもあり、現地購入も可能であるが、扱っている車種やサービスについては不明である。

### (5) 自動車登録

強制(第三者損害補償)保険に加入した上で、当地陸運局(Land Transport Authority; LTA)に申請し、ナンバープレート及び車両検査済証(車両前面ガラス内側に貼付)の交付を受ける必要がある。手続き料(検査料、登録料、ナンバープレート発行・装着料、検査済証発行料)が必要な他、車体の整備料を要する場合がある。

### (6) 免許証取得

上記登録の後、同様に当地陸運局に申請し、交付を受ける。有効期間は1年、3年、6年間から選択する(更新可能)。手続き料(申込料、免許証発行料)を要する。

道路交通に関するジュネーブ条約の加盟国であり国際運転免許証も有効であるが、警察官が当該免許について知らないことが予想され、トラブルを避けるためにも早めに当地免許証を取得するのが望ましい。

### (7) 車検

毎年1回、前回の車検検査済証に記載された指定期限までに受ける必要がある。LTAの事務所で受検する他、民間の指定検査場でも可能。手続き料(検査料、登録更新料、検査済証発行料)を要する。

## (8) 保険、税金

自動車保険は、第三者損害賠償保険である強制保険(初回登録時及び毎年  
の車検時に更新が必要)の他、自損事故等をカバーする任意保険にも当地で加  
入が可能。強制保険は自家用車の場合、110 フィジードルの定額であるが、任意  
保険は加入条件に応じて保険料が異なり、最低でも数百ドルは要する。ただし、  
本邦での無事故証明があれば、保険料が割引(割引率は過去の保険期間や事  
故率によって異なる)される場合があるので、日本で直前まで任意保険に加入し  
ていた場合は、出発前に当該保険会社より、英文の無事故証明の交付を受けて  
持参するのが良い。

その他、本邦において海外旅行総合保険の特約として、自動車事故時の第三  
者賠償を担保することも可能である。

## (9) 自動車事故時の対応

直ちに警察へ連絡し、警察の検分が終わるまでは、事故車を動かさず現場を  
保全するのが、当地の慣習である。また怪我人がいれば救急車を手配し、併せ  
て内外の保険会社へも連絡することとなる。第三者との事故の場合は、相手の  
連絡先を控え、証拠保全のため、携帯カメラを持参し現場を撮影しておくことも重  
要。

## (10) その他

当然ながら、当地でも、無免許運転、飲酒運転は法令違反であり、刑事処罰  
を受ける。安全ベルトの着用も義務。

## 20. 地方都市



地方都市としては、Lautoka(ラウトカ)、Nadi(ナンディ)、Ba(バ)、Labasa(ランバ  
サ)などがある。

## &lt;ナンディ&gt;

国際空港があるビチ・レブ島西部の都市で、フィジーへの玄関口と言える。また、  
ヤサワ諸島やママヌザ諸島のリゾート地区への出発拠点でもある。デナラウ地区に  
は一流リゾートホテルも多くあり、観光地として栄えている。そのため、首都や他の  
地方都市に比べると物価が高い傾向にあるが、日曜日でも開店している土産物店  
やレストランが多く、便利である。ナンディ国際空港から首都スバまでは車で約 3 時  
間半、空路で 30 分である。

## &lt;ラウトカ&gt;

首都スバに次ぐ人口第二の都市であり、さとうきびと漁港で有名である。第二の都  
市だけあり、活気があり、大きなマーケットもある。日系の英語学校の別校舎が設置  
され、特に夏休み期間には多くの日本人短期留学者が訪れている。ラウトカからナ  
ンディ国際空港までは車で 30 分、首都スバまでは車で 4 時間。

## &lt;ナウソリ&gt;

スバの空路の玄関口。スバ郊外に位置し、スバ市内から車で約 30 分。中型ジェツ

ト機が離発着できる国際空港があり、トンガ、ツバルなどへの国際便(豪州便は2008年3月現在運休中)の他、ナンディや離島区間の航空便も就航している。フィジー最大の川、レワ川が流れていることで有名である。同川には、最大の橋レワ・ブリッジが欧州共同体の援助で完成した。また、精米の町としても有名である。

#### <ラミ>

スバ近郊の小さな港町である。スバから車で15分。漁港がある。

#### <バ>

ビチ・レブ島北部にある。フィジー系インド人の割合が非常に高く、フィジー最大の金物販売チェーン店の本部があることで有名で、工業都市である。また、サッカーが盛んに行われていることから Champion Soccer City とも呼ばれている。バからナンディ国際空港まで車で1時間、首都スバまでは車で5時間。

#### <ラキラキ>

ビチ・レブ島の北部にある。世界でも有名なフィジー産のミネラル・ウォーター「フィジー・ウォーター」の工場があることで有名。また、牛肉用の牧場でも有名である。車でナンディから1時間半、スバからは3時間半。

#### <タイレブ>

ナウソリから車で30分ほど東に入ったところに位置する。乳製品用の牧場があることで有名であり、フィジーの最大の乳製品会社 Dairy Milk 工場がある。

#### <シンガトカ>

リゾート地として知られるパシフィック・ハーバー、コーラル・コーストから近い。アウトリガーホテル、フィジアンリゾートなどの有名リゾートホテルが周辺に点在する。別名 Coral Coast Town と呼ばれている。車でナンディから1時間、スバから2時間半。

#### <ランバサ>

フィジーで二番目に大きなバヌア・レブ島で最大の都市である。さとうきびで有名であり、フィジーで最大のさとうきび工場がある。また、材木の輸出も盛んである。バと同様、インド系フィジー人の割合が非常に高い。ランバサへはナンディから空路で1時間、スバから45分。

#### <サブサブ>

バヌア・レブ島東部に位置する温泉が出ることで有名なリゾート地。入り江が非常に穏やかなことから、海外からのヨットが寄港し、常に数多くのヨットが停留している。Friendly North Town と呼ばれている。空路でナンディ、スバからそれぞれ40分。

#### <レブカ>

ビチ・レブ島の北東に位置するオバラウ島の中心地。フィジーが1874年にイギリスの植民地として占領された当時の首都であったため、未だにコロニアル時代の面影を残す町である。現在、町全体を世界遺産として登録する動きが出ている。スバから空路で15分。

### <カンダブ島>

ビチ・レブ島の南に位置するフィジーで 3 番目に大きな島。ダイビングやカヌーのスポットとして有名。また、ここにしか生息しない色鮮やかなオウムや、フィジーの伝統儀式であるヤンゴナ(カバ)の生産地としても有名である。空路でナンディから 40 分、スバからは 30 分。

### <コロ島>

オバラウ島の更に北東に位置する島で、フィジーでは 5 番目に大きな島。島全体の電化がまだ進んでおらず、未だに豊かな自然が残る。スバから空路で 30 分、ボートで 8 時間。ボートはサブサブを経由する。

## Part 3 イエローページ

※特に記載がない限り、JICA事務所のある首都スバの情報を中心に掲載しています。

データは、特に記載がない限り2007年12月時点のものであり、その後は記載内容に変更が生じる場合があります。

## 1. JICA事務所

所在地	Level 8, Suva Central Building, Corner of Pratt Street and Renwick Road, Suva, Fiji
郵便物宛先	JICA Private Mail Bag, Suva, Fiji
TEL/FAX	TEL: +679-330-2522/330-1829 FAX: +679-330-2452
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.jica.go.jp/fiji/index.html">http://www.jica.go.jp/fiji/index.html</a> E-mail: <a href="mailto:fj_oso_rep@jica.go.jp">fj_oso_rep@jica.go.jp</a>

## 2. 日本大使館

所在地	2nd Floor, Dominion House, 1 Suva, Fiji (G.P.O. Box 13045)
TEL/FAX	TEL: +679-330-4633 FAX: +679-3304633
URL/E-mail	URL: <a href="http://www.fj.emb-japan.go.jp/JapaneseVersion/index_j.html">http://www.fj.emb-japan.go.jp/JapaneseVersion/index_j.html</a>

## 3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: +679-999-4649(閉館時)
警察	TEL: 911/917
消防	TEL: 911
救急車	TEL: 911

## 4. ホテル\*シングル=S、ダブル=D 料金は2007年12月末現在。

<スバ>

## ■Quest Suva

Level 6, Suva Central Building, Corner of Pratt Street and Renwick Road Suva

TEL: 3319119 FAX: 3319118

URL: <http://www.questsuva.com/>

E-mail: [questsuva@connect.com.fj](mailto:questsuva@connect.com.fj)

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, VISA

スバ市内中心部に位置し、JICA事務所と同じビルにある。簡易キッチン付き。部屋によっては洗濯機と乾燥機も備えられている。

## ■Holiday Inn Suva

Victoria Parade, Suva

TEL: 3301600 FAX: 3300251

URL: <http://www.ichotelsgroup.com/h/d/hi/160/en/hd/suvvp>

E-mail: [reservations@holidayinnsuva.com.fj](mailto:reservations@holidayinnsuva.com.fj)

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

スバ市内で最高級ホテル。バーとレストランも完備。JICA事務所まで徒歩圏内。

## ■Tanoa Plaza

Gordon St, Suva

TEL: 3312300 FAX: 3301300

URL: <http://www.tanoaplaza-fiji.com/>

E-mail: [tanoaplaza@connect.com.fj](mailto:tanoaplaza@connect.com.fj)

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, VISA

いわゆるビジネスホテル。レストラン兼バーがひとつ。JICA事務所まで徒歩圏内。

## ■Tropic Tower's Apartments Hotel

86 Robertson Road, Suva

TEL: 3304470 FAX: 3304169

URL: <http://www.tropictowers.com/>

E-mail: [tropictowers@is.com.fj](mailto:tropictowers@is.com.fj)

使用できるクレジットカード: American Express, Diners, MasterCard, VISA

古いホテル。部屋は広く簡易キッチン付き。JICA事務所まで徒歩圏内。

## ■Raffles Tradewinds Hotel

Queens Rd, Lami

TEL: 336 2450 FAX: 336 2455

URL: <http://www.rafflestradewinds.com/tradewinds/home.htm>

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

スバ市内から車で15分程度。ラミ湾に面した半リゾートホテル。バーとレストランも完備。水産局近い。

<ナンディ> (リゾートホテルは、デナラウ地区を中心に下記以外にも数多く存在します。)

■Fiji Mocambo Hotel

Namaka Hill, Nadi

TEL:6722000 FAX:6720590

URL:http://www.accorhotels.com/accorhotels/fichehotel/gb/sam/6287/fiche\_hotel.shtml

E-mail: reservations@mocambo.com.fj

使用できるクレジットカード:American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

ナンディ空港から程近い半リゾートホテル。バーとレストランも完備。ナンディ市内からは遠い。

■Raffles Gateway Hotel

Nadi Airport, Nadi

TEL:672 2444 FAX:672 0620

URL:http://www.rafflesgateway.com/gateway/home.htm

使用できるクレジットカード:American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

空港目の前のビジネスホテル。バーとレストランも完備。ナンディ市内からは遠い。

■Capricorn International Hotel

Martintar, Nadi

TEL:6720088 FAX:6720522

URL:http://www.capricornfiji.com/Nadi-home.htm

E-mail: capricornsuva@connect.com.fj

使用できるクレジットカード:American Express、MasterCard、Diners、VISA

ナンディ市内から車で5分程度。古いホテルだが、周囲にレストランも多く、日本食レストラン「大黒」も至近。

## 5. 美容院・理容店

■Hair World Salon

Pratt Street, Suva

TEL:331 2611

■Salon Shop #11

Boulevard Building, Suva

TEL:331 0277

■Edge Hair Design

Victoria Parade, Suva

TEL:330 4453

■Hair World Salon

Pratt Street, Suva

TEL:331 2611

## 6. レストラン・飲食店(日本食含む)

<スバ>

■Old Mill Cottage Café

49 Carnarvon Street 米国大使館近く

TEL:3312132

米国大使館近く。古い家屋を生かしたフィジー料理が中心の食堂。ダロやロロの他、カレー等もある。昼食時は込み合う。

■Lantern Palace

10 Pratt Street, Suva

TEL:3314633

JICA 事務所のある Suva Central Building 隣。中華料理。

■The Great Wok of China

70 Bau Street, Flagstaff

TEL:3301285

中華料理。やや高級感あり。

■Noble House

16 Bau Street, Flagstaff

TEL:3304322

中華料理(Taipan(大斑))と西洋料理(Aberdeen Grill)。高級感あり。コース15ドル程度から。

■Tiko's Seafood Restaurant & Bar

Stinson Parade, Suva

TEL:3313626

洋食。スバ湾に浮かぶ船上レストラン。バンドの演奏等がある。

■Hare Krishna Vegetarian Restaurant

16 Pratt Street, Suva

TEL:3314154

JICA 事務所のある Suva Central Building 隣。ベジタリアン向けインドカレー。アイスクリームも人気。

■Ashiyana	Old Town Hall Building, Victoria Parade, Suva TEL: 3313000 Suva 図書館の隣。北インド料理。酒類あり。有名店。
■Seoul House	Southern Cross Hotel, 63 Gordon Street, Suva TEL: 3314233 サザンクロスホテル内最上階。韓国料理。焼肉、冷麺。予算 20ドル～。休日も営業。
■Capital Palace	64 Victoria Parade, suva TEL: 3316088 飲茶等。日曜日は点心や粥あり。
■Chopstick & Seafood Restaurant	68 Thomson Street, Suva TEL: 3300968 JICA 事務所近く。中華料理。料金安め。
■Korea House Restaurant	178 Waimanu Road, Suva TEL: 3311711 韓国料理。焼肉、冷麺。予算15ドル～。キムチや豆腐も売ってくれる。
■Copper Chimney	35 Amy Street, Suva TEL: 3315916 インド料理。チキン、海老、ほうれんそう、ポテトカレー等おすすめ。ラッシー(ヨーグルト飲料)も絶品。他に Suports City にも店舗あり。
■L'Opera	59 Gordon Street, Suva TEL: 3318602 サザンクロスホテル近く。スバ唯一のイタリア料理専門店。
■JJ's On The Park	YWCA Building, Ratu Sukuna Park, Suva TEL: 3305005 洋食。ブルー&ブラックツナ、JJ's バーガー等おすすめ。
■McDonald's (Suva)	66 Victoria Parade, Suva TEL: 3309685 世界的ハンバーガーチェーンの市内店
■McDonald's (Laucala Bay )	Laucala Bay Road, Suva TEL: 3309360 世界的ハンバーガーチェーンの南太平洋大学付近の店
■Kentucky Fried Chicken(KFC)	Union Plaza, Thomson Street, SUva TEL: 3305211 世界的フライドチキンチェーンの市内店。他に Centrepoint にも 1 店あり。
■The Point After	Queen Elizabeth Drive, Suva TEL: 3305794 海にせり出した店。サラダバーが楽しめる。
■Nando's (Regal Lane)	Regal Lane, Suva TEL: 3301040 世界的ファストフードチェーンの市内店
■Nando's(Laucala Bay Road)	Laucala Bay Road, Suva TEL: 3260078 世界的ファストフードチェーンの南太平洋大学付近の店
■Daikoku Restaurant(大黒)	Victoria Parade, Suva TEL: 3308968 ホリデイインホテル近く。鉄板焼きメインの和食。刺身、寿司、カツ丼、エビフライ、天ぷらなど。昼 15ドル～、夜 40ドル～。
■Zen	Pacific House, Butt Street, Suva.

TEL:3306314

パシフィックハウス1階。韓国風和食。和風定食、麺類、寿司等。

## ■Shabu Shabu Raq Marama Building, Gordon Street, Suva

TEL:3318350

サザンクロスホテル近く。韓国風和食。しゃぶしゃぶ、寿司等。予算40<sup>F</sup>ル〜。

## &lt;ナンディ&gt;

## ■Chef's

Port Denarau, Nadi

TEL:6750197

洋食

## ■Daikoku Restaurant(大黒)

Northern Press Raod, Nadi

TEL:6703623

カプリコンホテル近く。スバ店の姉妹店。2Fは鉄板焼き専門。1Fはアラカルト。カツ丼、寿司、エビフライ、天ぷらなど。

## ■Hamacho(浜町)

Denarau Island South, Nadi

シェラトンリゾートホテル敷地内の高級和食店。鉄板焼き、刺身、寿司、懐石風定食など。

## ■Ikkyu(一休)

Sukuna Rd. &amp; Lohhia Street, Nadi

TEL:6702722

メルキュールホテル近く。日本人が経営するナンディの居酒屋風和食店。

## ■OHRA

Nadi Airport, Nadi

TEL:6725151

日本人が経営するナンディの和食店。一品料理、麺類など。

## 7. スーパーマーケット、食料品(日本食)

## ■MH Central Complex

Rodwell Rd

営業時間:月~日 09:00-21:00

2007年12月に開店したJICA事務所近くの大きな商業ビル。ひと通りのものが揃い、酒屋も併設。2階に様々な雑貨・服・スポーツ用品等を扱うデパート的店舗あり。

## ■MH Premium

Flagstaff 交差点

TEL:3316811

営業時間:月火水 07:30~19:30 木金 07:30~20:00 土 07:00~20:00 日 08:00~14:00

MHの中では、少し小さめの店舗。酒屋も併設。2階に食器・ギフトコーナー。

## ■MH Super Fresh

1 Mead Rd Tamabua

TEL:3386085

営業時間:月~木 08:00~20:00 金土 08:00~21:00 日 08:00~14:00

一通りのものが揃う大きなスーパー。簡単な惣菜も販売。敷地内にパン、酒、文房具店等もある。

## ■Joes Farm Super Market

74-76 Raqa Avenue TAMAVUA

TEL:3320855

営業時間:月~土 06:00~20:00 日 07:00~15:00

輸入品も扱う清潔感のあるスーパー。みりん、のり、醤油、酢、チーズ、輸入野菜等が豊富。

## ■Kundan Singh &amp; Sons (Tamavua)

194 Princess Road, Tamavua, Suva

TEL:3370107

営業時間:月~土 06:00~21:00 日 07:00~19:00

日曜日遅くまで営業。BPのガソリンスタンドと酒屋も併設するが酒屋は日曜休。市内に数店舗あり。

## ■新東洋

Downtown Boulevard 内

TEL:3303880

営業時間:月~金 朝~17:00 土 朝~12:00 日休

アジア食品・雑貨。中国人(朝鮮系)オーナーは日本語可。韓国食材の他、日本食材(麺類、のり、しょうゆ、みそ、香辛料、即席食品等)、冷凍食品などもある。

## ■遠東(Yontong)

121 Marks Street

TEL:3302170

営業時間:月~金 朝~17:00 土 朝~14:00 日休

中国・香港系食品・雑貨。日本食材(麺類、のり、しょうゆ、みそ、乾燥わかめ、即席味噌汁等)もあり。

## 8. 食器、調理器具

### ■Vinod Patel(Head Office)

Centerpoint, Suva

TEL:3393111

日本のいわゆるホームセンターに相当。本店の他、スバの他、国内各地に支店がある。電化製品、家具、雑貨、日用品全てを扱う。

### ■COURTS HOMECENTRES(Head Office)

Ratu Mara Road, Samabula, Suva

TEL:3381333

本店の他、国内各地に支店がある。スバには2箇所。品数が豊富で品質もわりと良い。

### ■Rups Big Bear(Head Office)

Grantham Road, Raiwaqa, Suva

TEL:3385399

本店の他、国内各地に支店がある。スバには4箇所。安価品が多い。

## 9. 家電製品店

### ■COURTS HOMECENTRES(Head Office)

食器、調理器具の項に同じ。

### ■Vinod Patel(Head Office)

食器、調理器具の項に同じ。

## 10. 家具店

### ■COURTS HOMECENTRES(Head Office)

食器、調理器具の項に同じ。

### ■Vinod Patel(Head Office)

食器、調理器具の項に同じ。

### ■PACIFIC GREEN

Queens Highway, Malageregere, Sigatoka

TEL:6500055 FAX:6520014

椰子材で家具を製造している。

## 11. 日用品、雑貨、文具

### ■Morris Hedstrom (MH)

Centerpoint, Suva

TEL:3393111

日用品、雑貨、文具から食品まで幅広く扱う総合スーパー。取り扱い品目毎に特化した市内の数店舗の他、国内各地に多数の支店がある。

### ■Vinod Patel(Head Office)

食器、調理器具の項に同じ。

<書店> ※大型の文具専門店は存在せず、市内のデパートや多数の小規模の雑貨屋・書店で取り扱われている。

### ■Suva Book Shop

Bookmasters

TEL:3318888

市内では比較的大きな書店。地図、英文ペーパーボックスなどが購入できる。

### ■Suva Book Shop

5-8 Greig Street, Suva

TEL:3311355

### ■USP Book Centre

University of South Pacific内, Suva

TEL:3232500

南太平洋大学内の書店

### ■Just Books

Laucala Bay Road, uva

TEL:3270690

Sports City2階の書店。子供向けの本が多い。

## 12. 医療機関、薬局

## ■Suva Private Hospital

120 amy street, toorak, Suva

TEL:330-3404 FAX:330-3456

フィジーで唯一のプライベート病院、入院施設あり、 外来は 24 時間体制(救急体制ではない) 各科専門医師が登録されている(脳外科、心臓外科、皮膚科はない) 薬局併設あり

## ■Nasese Medical Center

62 Ratu Sukuna Rd. Suva

TEL:331-4450 FAX:331-3655

レントゲン、超音波、臨床検査可能。8:00~17:00、19:00~21:00、薬局併設

## ■Colonial War Memorial Hospital (CWMH) 国立病院

Waimanu Road, Suva

TEL:331-3444 FAX:330-3232

国内トップレベル病院。24 時間体制の救急事故外来あり

## ■Namaka Medical Center

Namaka, LANE, Nadi

TEL:672-2288 FAX:672-3926

ナンディ空港より最も近い(車で約 5 分)クリニック。各予防接種可能、緊急移送の際の一時処置としても利用

## ■Gordon street Dental Surgery

19 Macgregor rd, Suva

TEL:331-2694 FAX:331-2706

## ■stewart street dental practice

Vinod patel Bld. 10 Stewart st,

TEL:330-8882 FAX:

## ■Samabula Drug store

Ratu Mara rd, Samabula, Suva

TEL:338-5900 FAX:

土日も夜間 20 時まで営業している

## ■Super drug Pharmacy Ltd

Suva Central Building

TEL:331-8755 Nabua 店 TEL:338-7766

JICA 事務所のビル 1 階にある。Nabua 店は毎日 8:00~21:00 まで営業している

## 13. 金融機関

## ■AUSTRALIA &amp; NEW ZEALAND BANKING GROUP LTD(ANZ)

豪州&amp;NZ系の外資。ナンディ、ナウソリ両空港内にも支店を持つ。国内の支店数は、20店前後。

TEL:321-3000(SUVA BRANCH)

URL:www.anz.com/fiji

## ■WESTPAC BANKING CORPORATION (スバ本店TEL132-032)

豪州&amp;NZ系の外資。ANZと同規模。

URL:www.anz.com/fiji

## 14. タクシー、レンタカー会社

## タクシー会社

&lt;スバ地区&gt;

## ■CWM Hospital Taxi

Brown St

TEL:3311137

## ■Nausori Taxis &amp; Bus Service Ltd

(スバ)Victoria Parade TEL:3312185

(ナウソリ)Nausori Airport TEL:3477583

## ■Regent Taxi

65 Amy Street Toorak

TEL:3312100

## ■Tamavua Taxi

Princes Road Tamavua

TEL:3322224

## ■Victoria Cabs

20 Berry Road

TEL:3313700、9969191

## &lt;ナンディ&gt;

## ■Pehicle

Nadi Airport  
TEL:6724086, 9995250  
日本人経営

## ■Nadi Airport Taxi

Nadi Airport Namaka  
TEL:6722887

## ■Prem's Transport

35 Bouvudi Street Nadi  
TEL:6723354, 9963488

## レンタカー

## &lt;スバ&gt;

## ■AVIS Rent-A-Car

Nadi Airport TEL:6722233  
Suva TEL:3378361

## ■Europcar

Nadi Airport TEL:6725957  
Suva TEL:3372050

## ■CENTRAL RENT-A-CAR

Nadi Airport TEL:6722771  
Suva: 293 Victoria Parade TEL:3311866

## 15. 車両修理会社、部品販売、輸入代理店

## ■Asco Motor

トヨタ系列、ヤマハ系列、ブリジストンタイヤを取り扱う正規販売店  
スバ TEL:338-4888、バ TEL:667-4406、ナンディ TEL:672-1777、ランパサ TEL:881-1688  
E-mail:info@asco.com.fj  
URL:www.asco.com or www.toyota-southpacific.com

## ■Niranjans

マツダ系列、スズキ系列、日野系列、コマツ系列を取り扱う正規販売店  
スバ TEL:338-1555、シンガトカ TEL:650-0511、ナンディ TEL:672-4677、ラウトカ TEL:666-1733、  
バ TEL:667-6555、ランパサ TEL:881-1199  
E-mail:logistics@niranjans.com  
URL:www.niranjans.com

## ■Carpenters Motors

ニッサン系列、ホンダ系列、現代系列、いすゞ系列、ファイヤーストン、グッドイヤーを取り扱う正規販売店  
スバ TEL:331-3644/322-8599、ナンディ TEL:672-2772、ラウトカ TEL:666-0599、ランパサ TEL:  
881-1522  
E-mail:sales.motors@carpentor.com.fj  
URL:www.carpmotors.com.fj

## ■Nivis Motor &amp; Machinery Company Limited ss

三菱系列、FUSO 系列を取り扱う正規販売店  
スバ TEL:338-3411 FAX328-0722、ラウトカ TEL:666-4622 FAX666-4290、  
ランパサ TEL:881-2277 FAX881-3177  
URL:www.nivismotors.com

## 16. 電信電話会社、インターネット・プロバイダー

## ■Unwired

Garden City 1 階  
TEL:3275040  
初期費用 500 ドル、月額 50 ドル。月～土営業、日休

## 17. 郵便局

## ■Suva (スバ) General Post Office

Central  
Customer Care TEL:0800-331-8224 FAX:330-7926  
G.P.O Box 40, Suva, Headquarters 10, Thomson Street

## 18. 国際宅配サービス会社、輸送会社

## &lt;スバ地区&gt;

## ■EMS

2 Kauga Street, Laucala Beach Estate

EMS Courier TEL:0800-334-0222

## ■DHL EXPRESS (FIJI) LTD

P.O.Box 13036, Suva, DHL Freight Center Grantham Plz

Customer Care TEL:0800-337-2766 FAX:337-2707

## ■Williams &amp; Gosling Ltd.

P.O.Box79 Harris Road, Suva

TEL:3312633 FAX:3302106

日本の輸送業者と提携。

## ■Carpenters Shipping

22 Edinburgh Drive Suva

TEL:3312244 FAX:3301572

日本の輸送業者と提携。

## &lt;ラウトカ地区&gt;

## ■Williams &amp; Gosling Ltd.

P.O.Box226 Lautoka

TEL:6664093 FAX:6658501

日本の輸送業者と提携。

## ■Carpenters Shipping

P.O.Box 751, Lautoka

TEL:6663988 FAX:6664896

日本の輸送業者と提携。

## &lt;ナンディ地区&gt;

## ■Williams &amp; Gosling Ltd.

P.O.Box9414 Nadi Aorport

TEL:6722855 FAX:6735730

航空便、クーリエ便を扱う。

## ■Carpenters Shipping

P.O.Box 9174, Nadi Airport

TEL:6722933 FAX:6720056

航空便、クーリエ便を扱う。

## 19. コンピュータ販売修理会社

## ■Office Products (Graphic Equipment Lte.)

TEL:331-3966 FAX:331-2273 E-mail:gel@connect.com.fj

P.O.Box 1215, Suva, 81 Amy St.

## ■Dick Smith

35 Knollys St., Suva, TEL:331-2808

QBE Arcade, Victoia Pde., TEL:330-4597

1st Floor Mid City Plaza Cumming St. FAX:330-2878 E-mail:sales@dsefiji.com

## ■datec

TEL:331-4411 FAX:330-0162 E-mail:info@datec.com.fj

P.O.Box 12577, Suva, 68 Gordon St.

## ■DALTRON

Sales TEL:331-5091 Services TEL:331-5087 FAX:331-5093 E-mail:info@daltron.com.fj

18 Ellery St., Suva

URL:www.daltron.com.fj

## ■FUJI XEROX

TEL:337-5100 FAX:337-5101

55 Millet Rd., Suva

URL:www.xeroxfiji.com.fj

## ■XCEED

Suva: TEL: 331-6000, Garden City Business Park, Raiwai

Lautoka: TEL: 664-5200, TFL Customer Care Bldg., Tavewa Ave.

Namaka: TEL: 672-1399, TFL Exchange, Montreal Cres

Labasa: TEL: 881-8100、 TFL Nasekula Rd.

## ■VT Solutions

スバ TEL: 331-8117 FAX: 331-8121 14 Riley St., Suva

ナンディ TEL: 672-6751 FAX: 672-6752 24 Cawa Rd., Martintar, Nadi

E-mail: ingo@vt-solutions.com

## 20. 教育機関

## &lt;外国人学校&gt;

## ■International School Suva

Siga Rd LBEst

TEL: 339 3300 FAX: 334 0017

E-mail: info@international.School.fj

登録料: 1,500ドル

施設料: 1,500ドル

授業料: 保育園約 1,400ドル/年、幼稚園～小学 5年約 8,500～10,000ドル/年、

小学 6年～中学 2年 1,200～14,000ドル/年、中学 3年～高校 3年 1,600ドル/年。

スクールバス 2.5ドル

## 21. 図書館

## ■スバ市立図書館

Victoria Parade, Suva

TEL: 331 3422

開館時間: 9:00～20:00

登録すると貸し出しが可能となる。

## 22. 日本の新聞、出版物

## ■海外新聞普及株式会社(OCS)

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL: (03)5476-8131 FAX: (03)3453-8091 E-Mail: subs@ocs.co.jp

フィジー国内では、直接日本の新聞、出版物を購入することは出来ない。本邦から新聞、出版物海外送付サービスを利用するのが普通。標記会社は、新聞、雑誌、書籍の海外送付の他、通信教育も扱っている。

## ■日販アイ・ピー・エス株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-3-4

TEL: 03-5802-1858 FAX: 03-5802-1891 e-mail: webmaster@clubjapan.jp

「CLUB JAPAN」名のオンラインショップにおいて、書籍、雑誌の他、音楽ソフト、DVD、食品雑貨等の送付を扱っている。但し、新聞は扱っていない。

## ■株式会社 海外支援センター

〒135-0006 東京都江東区常盤2-14-11

TEL: 03-3631-9170 FAX: 03-3631-9190

URL: <http://www.kaigai.co.jp/map.html>

書籍、雑誌の他、音楽ソフト、DVD、日用品等の送付を扱っている。但し、新聞は扱っていない。

## 23. スポーツ施設

## ●テニス

## &lt;スバ地区&gt;

## ■Victoria Tennis Courtt

Disraeli Road

TEL: 3305599

1面の使用料: 4フィジドル/時(夜間 6フィジドル)

## ■Suva Lawn Tennis Club

1 Williamson Road, Dominion, Suva

TEL: 3311726

## &lt;ナンディ地区&gt;

## ■Denarau Golf &amp; Racket Club

P.O.Box 9081, Nadi Airport

TEL:6759711 FAX:6750484

1面の使用料: フィジードル/時。ゴルフ場もあり。

## &lt;パシフィック・ハーバー、コーラル・コースト地区&gt;

## ■The Pearl Resort and Golf Course

P.O.Box144 Deuba Pacific Harbour

TEL:3450022

本格的コース。カート有り(有料)。ホテルも併設しており、会員、宿泊客はプレー料金が割引となる。

## ●ゴルフ

## &lt;スバ地区&gt;

## ■Fiji Golf Club

15Rifle Range Road, Suva

TEL:3381184

スバ市内唯一のゴルフ場。土曜は会員専用。

## &lt;ナンディ地区&gt;

## ■Denarau Golf &amp; Racket Club

P.O.Box 9081, Nadi Airport

TEL:6759711 FAX:6750484

テニスコートもあり。

## ■Nadi Airport Golf Club

P.O.Box9015, Nadi Airport

TEL:6722148 FAX:6720662

## &lt;パシフィック・ハーバー、コーラル・コースト地区&gt;

## ■The Pearl Resort and Golf Course

P.O.Box144 Deuba Pacific Harbour

TEL:3450905

ホテル内にテニスコートもある。本格的ゴルフ場も併設。

## ■Shangri-La's Fijian Resort Executive Golf Course

Coral Coast

TEL:6520155 FAX:6500402

9ホール。Shangri-La's Fijian Resort 内にある。

(注)上記の他にも、バヌア・レブ島やタベウニ等のコース、リゾート・ホテルのショートコースなどがある。

## ●プール

## ■Suva Swimming Pool

224 Victoria Parade

TEL:3313433

屋外50mプール。公式試合用であるが、メンバーになれば利用可能。

## ●乗馬

## ■Suva Pony Club

Queen Elizabeth drive, Nasese, Suva

TEL:3305482

## 24. リゾートの宿泊施設

## &lt;スバ地区&gt;

## ■Toberua Island Resort

P.O.Box567, Suva

TEL:347 2777 FAX:347 2888 E-mail: toberua@is.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA

## &lt;ナンディ地区&gt;

## ■Sheraton Fiji Resort

P.O. Box9761 Denarau Island

TEL:675 0777 FAX:675 0818 E-mail:sheratondenarau@sheraton.com

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Sofitel Fiji Resort

Private Mail Bag 396 Nadi Airport

TEL:675 1111 FAX:675 1122 E-mail:reservations@sofitelfiji.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Westin Denarau Island

P.O. Box 9081, Nadi Airport

TEL:675 0000 FAX:675 0259

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Tanoa International Hotel

P.O. Box9203, Nadi Airport

TEL:672 0277 FAX:672 0191 E-mail:reservations@tanoahotels.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA

## ■Fiji Mocambo

P.O. Box9195, Nadi Airport

TEL:672 2000 FAX:672 0324 E-mail:mbo@shanqri-la.com

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Sonaisali Island Resort

P.O. Box2544, Nadi

TEL:670 6011 FAX:670 6092 E-mail:info@sonaisali.com

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Anchorage Beach Resort

P.O.Box9203, Nadi Airport

TEL:666 2099 FAX:666 5571 E-mail:tanoahotels@is.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, VISA

## &lt;パシフィック・ハーバー、コーラル・コースト地区&gt;

## ■Shanqri-La Fijian Resort

Shanqri-La Fijian Resort Private Mail Bag, Nadi Airport

E-mail:fiji@shanqri-la.com

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■The Naviti

P.O.Box29, Korolevu

TEL:653 044 FAX:653 0099 E-mail:naviti@is.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■The Warwick Fiji

P.O.Box100, Korolevu

TEL:653 0555 FAX:653 0155 E-mail:warwickres@warwickfi.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Hideaway Hotel

P.O.Box233, Sigatoka

TEL:650 0177 FAX:6520025 E-mail:hideaway@is.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, Diners, VISA

## ■The Pearl Resort and Golf Course

P.O.Box144 Deuba Pacific Harbour

TEL:3450905

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Outrigger Hotel

P.O. Box173, Sigatoka

TEL:650 0044 FAX:652 0074 E-mail:reservations@outriggerfiji.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, Diners, VISA, JCB

## ■Natadola Beach Resort

P.O.Box381, Nadi Airport

TEL:672 1001 FAX:672 1000 E-mail:natadola@is.com.fj

使用できるクレジットカード: American Express, MasterCard, VISA

## ■Vatulele Island Resort

P.O.Box9936, Nadi Airport

TEL:672 0300 FAX:672 0062 E-mail:vatulele@is.com.fj

使用できるクレジットカード: MasterCard, VISA

## &lt;ラキラキ地区&gt;

## ■Mokushigas Island Resort

P.O.Box268 Rakiraki  
 TEL:669 4444 Fax:669 4404 e-mail: mokusiqa@is.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

## &lt;ママヌザ諸島&gt;

## ■The Wakaya Club

P.O.Box15424. Suva  
 TEL:344 8128 FAX:344 8406 E-mail:wakaya@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

## ■Mana Island Resort

33. Namoli Ave. P.O.Box610. Lautoka  
 TEL:666 1333 FAX:666 2713 E-mail:resort@manafiji.com  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

## ■Treasure Island Resort

P.O.Box2210. Lautoka  
 TEL:666 6999 FAX:666 6955 E-mail:treasureisland@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Vomo Island

P.O.Box5650. Lautoka  
 TEL:666 7955 FAX:666 7997 E-mail:res@vomo.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA

## ■Tokoriki Island Resort

P.O.Box10547. Nadi Airport  
 TEL:666 1999 FAX:666 5295 E-mail:tokoriki@is.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Castaway Island

Private Mail Bag. Nadi Airport  
 TEL:666 1233 FAX:666 5753 E-mail:enquires@castaway.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Matamanoa Island Resort

P.O.Box9729. Nadi Airport  
 TEL:6660511 FAX:6661069 E-mail:matanoa@connect.com  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Beachcomber Island Resort

P.O.Box364. Lautoka  
 TEL:6661500 FAX:6664496 E-mail:beachcomber@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Malolo Island Resort

P.O.Box10044. Nadi Airport  
 TEL:666 9192 FAX:666 9197 E-mail:reservation@maloloresort.com  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA

## ■Plantation Island Resort

P.O.Box9176. Nadi Airport  
 TEL:666 9333 FAX:666 9200 E-mail:plantation@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA

## &lt;ヤサワ諸島&gt;

## ■Yasawa Island Resort

P.O.Box10128. Nadi Airport  
 TEL:672 2266 FAX:672 4456 E-mail:eservation@yasawa.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## &lt;バヌア・レブ島&gt;

## ■Nukubati Island Resort

P.O.Box1928 Labasa  
 TEL:881 3901 FAX:881 3914 E-mail:nukubati@is.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA、JCB

## ■Lomalaqi Resort

P.O.Box. Savusavu  
 TEL:881 6098 FAX:881 6099 E-mail:lomalaqi@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: MasterCard、Diners、VISA、JCB

■Jean-Michel Cousteau Fiji Islands Resort  
 c/o Post Office Savusavu  
 TEL: 885 0188 FAX: 885 0174 E-mail: info@fijiresort.com  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

<タベウニ島>

■Qamea Beach Resort  
 P.A. Matei Taveuni  
 TEL: 888 0220 FAX: 888 0092 E-mail: gamea@is.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

■Matagi Island Resort  
 P.O.Box83, Waivevo, Taveuni,  
 TEL: 888 0260 FAX: 888 0274 E-mail: fiires@matangiisland.com  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、Diners、VISA

■Maravu Plantation Resort  
 P.A. Matei Taveuni  
 E-mail: naravu@is.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

■Garden Island Resort  
 P.O.Box1, Wivevo, Taveuni  
 TEL: 888 0286 FAX: 888 0288 E-mail: garden@connect.com.fj  
 使用できるクレジットカード: American Express、MasterCard、VISA

## 25. 旅行代理店

<スバ地区>

■Air Fiji (Travel Centre)  
 185 Victoria Parade  
 TEL: 3477160 (Domestic)、3315055 (International)  
 フィジー国内航空会社系列。

■Premier Travel  
 Downtown Boulevard 内  
 TEL: 3318140 FAX: 3318939 E-mail: premiertravel@connect.co.fj  
 顧客のリクエストには丁寧に対応してくれる。

■Pan Pacific Tours  
 Vanua Arcade, Vanua House, Victoria Parade.  
 TEL: 3317270、3317280、6702930 FAX: 3317266、6702940 E-mail: mactwl@connect.com.fj  
 韓国人が経営している旅行代理店。IATA 登録。大韓航空便の購入は有利。

■Mocquorie Travel World Services Ltd.  
 c/o Post Office Savusavu  
 TEL: 3315855、3315870 FAX: 3303856 Email: mactwl@connect.com.fj  
 日本大使館所在ビルのドミニオンハウス地上 1 階に店舗。IATA 登録。

<ナンディ地区>

■Pehicle Tours(FIJI) Co. Ltd.  
 PO Box10972, Nadi Airport  
 TEL: 6724086 FAX: 6705573 E-mail: pehicle@connect.com.fj  
 日本人経営の旅行代理店。ナンディに拠点があるが、スバにも迎えに来てくれる。

■a.t.s.Pacific  
 PO Box9172, Nadi Airport  
 TEL: 6722811 FAX: 6720107 E-mail: ipnpax@atspacific.com.fj  
 URL: www.atspacific.com/fiji  
 東京都石原知事一行が 2007 年 9 月のフィジー来訪時に使った旅行代理店。担当者が日本語が話せる。

## 26. 保険会社

■Sun Insurance Company Ltd.  
 Floor Harbour Front Building, Rodwell Rd, Suva, PO Box 16976, Suva  
 TEL: 3313822(代表) FAX: 3313882, E-mail: info@suninsurance.com.fj  
 URL: www.suninsurance.com.fj  
 自動車強制保険、任意保険。各種損害保険。労災保険。

■QBE Insurance(Fiji) Ltd.  
 QBE Centre, Victoria Parade, GPO Box101 Suva  
 TEL: 3315455 FAX: 3300285  
 URL: www.qbe.com  
 創業 100 年の総合保険会社。

---

**■QBE Insurance(Fiji) Ltd.**

---

Level 1, 125 Vitogo Parade, PO Box517 Lautoka  
TEL:6660642 FAX:6665377  
上記ラウトカ支店。

---

**■Tower Insurance**

---

Tower House Cnr Cummino & Thomson St.  
TEL:3315955 FAX:3301376  
URL:www.towerinsurance.com.fj

---

自動車強制保険、任意保険。各種損害保険。労災保険。

---

**■Tower Insurance**

---

48 Naviti Street, Lautoka  
TEL:6661899 FAX:6661256  
上記ラウトカ支店

---

**■Fiji Care Insurance Limited**

---

Floor, FNPF Place, 343-359 Victoria Parade, PO Box 15808, Suva  
TEL:3302717 FAX:3302119

---

時間外:9991777 (Managing Director)、9999561 (Marketing & Development Manager)、  
9991771 (Claims Director)

---

E-mail:fijicare@connect.com.fj

---

生命保険会社。離島からの緊急移送サービス保険あり。

---

## 27. 日本人会

---

**■フィジー日本人会**

---

事務局所在地(代表者事務所所在地):P.O.Box610, Lautoka, Fiji

---

代表者:西田 武弘(~2009.4 迄) TEL:666-1333 FAX:666-2713

---

監事、事務局長:大室 誠(~2009.4 迄) TEL:9997539

---

会員間の福利厚生、相互の親睦向上、日本・フィジー間の親善寄与を目的とする。

---